取扱説明書　　日立リビングサプライ

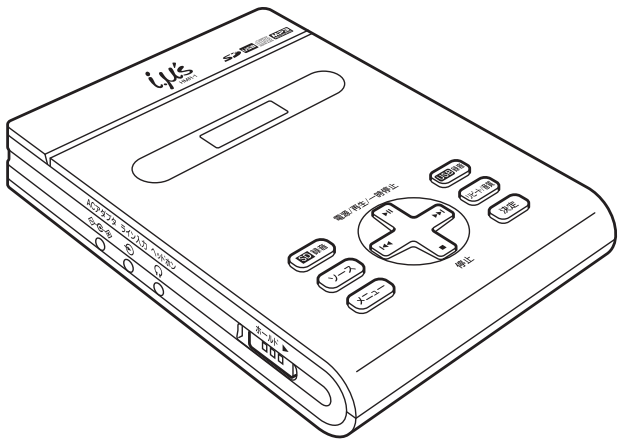
保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。
必ず記入を受けてください。

ポータブルCD・MP3レコーダー

形名

HMR-1

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。



本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

「とにかく使ってみる」という方へ

P.3 ～ 10のご注意・お願い事項を
よくお読みの上、目次の でお試しください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 …… 3
安全のため必ずお守りください……3

あらかじめご承知いただきたいこと …… 7
免責事項……7
著作権について……7

使用上のお願い …… 8
CDについてのご注意……8
CD-R/RWディスクについて……8
本機で使用できるSDメモリーカード……8
本機で使用できるUSB機器……9
必ずお読みください……9
録音・編集時のお願い……9
MP3（エムピースリー）について……10
WMA（ダブリューエムエー）について……10

確認と準備

付属品の確認 …… 11

各部のなまえ …… 12

電源の入れかた …… 15
専用ACアダプター（付属品）を使う……15
乾電池（別売）を入れる……15
電源を入れる……16
電源を切る……16
誤動作を防止する（ホールドスイッチ）……16

録音

録音する前に …… 17
録音メニューについて……17
フォルダ・ファイル構成について……17
フォルダ（第1階層）の選択のしかた……19
録音モードを選択する……20
録音速度を選択する（CDからの録音のみ）……22
シンクロ録音を設定する（ライン入力録音のみ）……24
自動無音分割機能について（ライン入力録音のみ）……26

CDを録音する …… 28
SDメモリーカードに録音する……28
USB機器に録音する……30

ライン入力で録音する …… 31
SDメモリーカードに録音する……31
ファイルを分割する……32
USB機器に録音する……33
ファイルを分割する……33

再生

音楽を楽しむ前に …… 34
フォルダ・ファイルの選択のしかた
（SDメモリーカード・USB機器のみ）……34

音楽を楽しむ …… 36
CDを再生する……36
SDメモリーカードを再生する……36
USB機器を再生する……37
再生を一時停止する……38
再生を停止する（CDの場合）……38
再生を停止する（SDメモリーカード・USB機器の場合）……38
早送り・早戻しする……38
曲を送る・戻す……38
音量を調節する……38
リピート再生する（ライン入力を除く）……39
プログラム再生をする（CDのみ）……41
A-Bリピート再生をする（ライン入力を除く）……43
ランダム再生をする（ライン入力を除く）……44
BASSを設定する（ライン入力を除く）……46
イコライザを設定する（ライン入力を除く）……47

その他の設定 …… 49
オートパワーオフを設定する……49
ディスプレイ表示部のバックライトの
点灯時間を設定する……50
SDメモリーカードをフォーマットする……51
ファイルを消去する
（SDメモリーカード・USB機器のみ）……53
メニューを工場出荷時の状態に戻す……55
バージョン情報の見かた……56

お手入れのしかた …… 57
本体のお手入れ……57
CDの取り扱いと保管……57
SDメモリーカード使用時のご注意……58
USB機器使用時のご注意……58

故障かな？と思ったら …… 59

用語解説 …… 62
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）……62
WMA（Windows Media Audio）……62
USBマスストレージ……62
ビットレート……62
DRM……62

メニュー一覧 …… 63
各ソースで選択できるメニュー一覧……63
MUSICメニューのフロー……64
RECメニューのフロー……65
COMMONメニュー・FILE NAVIメニューのフロー……66

仕様 …… 67

ご相談窓口 …… 68

保証とアフターサービス …… 69

ポータブルCD・MP3レコーダー保証書… 裏表紙

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
●の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状などが異なることがありますが、ご了承ください。

本体について

⚠警告

■ 分解・改造しない

火災・感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ ぬらさない、内部に水を入れない

水が入ると、火災・感電の原因になります。
万一、水が入ったときは、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 風呂場・シャワー室・雨の中などでは使わない

火災・感電の原因になります。

■ 内部に異物を入れない

火災・感電の原因になります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）
万一、異物が入ったときは、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因になります。

⚠警告

■ 異常や故障が発生したとき（煙が出ている・変なにおいや音がするなど）は、すぐに使用をやめる

火災・感電の原因になります。
電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ 日本国以外では使わない

禁 止

本機をAC電源（交流100V）で使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other county.

■ 電源電圧100V以外使わない

禁 止

火災・感電の原因になります。

■ 運転中は使わない

禁 止

自動車・オートバイ・自転車などの運転をしながらイヤホンやヘッドホンなどを使ったり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使うときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ SDメモリーカードやUSB機器のデータを消去するときは、電池残量の確認をする

消去の途中で電源が切れると、SDメモリーカードやUSB機器が破損する場合があります。
使用中に電池残量表示の目盛りがなくなったら、すぐに使用をやめて、新しい乾電池に交換してください。

⚠注意

■ 不安定な台や傾いた場所に置かない

禁 止

落下して、けが・故障の原因になります。

■ 幼児の手の届くところに置かない

禁 止

けがなどの事故の原因になります。

■ 湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所に置かない

禁 止

火災・感電の原因になります。水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 直射日光が当たる場所、窓を閉め切った自動車の中など、温度が高くなる場所に放置しない

禁 止

火災・故障の原因になります。
極端な温度条件（温度が5℃未満、または35℃を超える場所など）では使わないでください。
結露などによる火災や感電の原因になります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁 止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。

■ 接続するときは、コード類を正しく配置する

足などに引っかけて、本体の落下や転倒などにより、けがの原因になります。

■ 布などをかぶせない

禁 止

内部に熱がこもり、変形したり火災の原因になります。

■ 音量を上げ過ぎない

禁 止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量は徐々に上げる

音量が上がり過ぎていると、再生時に突然大きな音が出て、耳を痛めることがあります。（電源を切るときは、音量を小さくしておいてください。また、音量の調節は、音量を確認しながらおこなってください。）

■ ふたで手をはさまないように注意する

けがの原因になります。（特に小さなお子様にご注意ください。）

■ レーザー光を見ない、のぞきこまない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災・故障の原因になります。

ACアダプターについて

⚠警告

■ 付属の専用ACアダプター以外を使わない

指定外のACアダプターを使うと、火災・感電の原因になります。

■ コンセントに確実に接続する

発熱などにより、火災の原因になります。

■ 電源コードを束ねたまま使わない

発熱などにより、火災の原因になります。

■ 専用ACアダプターや電源コードを傷付けない

・重いものを乗せない。
・途中でつぎ足したりして、加工しない。
・無理に折り曲げない。
・ねじったり、引っぱったりしない。
・熱器具に近付けない。

発熱などにより、火災の原因になります。

■ 専用ACアダプターが傷んだときは、使わない

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。お買い上げの販売店に、交換をご依頼ください。

■ たこ足配線はしない

発熱などにより、火災の原因になります。

■ 雷が鳴り出したら、専用ACアダプターにさわらない

感電の原因になります。

■ 定期的に専用ACアダプターを抜き、専用ACアダプターとコンセントの間に付着したほこり・汚れなどを取り除く

ショートや発熱して、火災の原因になります。

⚠注意

■ ぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

⚠注意

■ 抜くときは、専用ACアダプターを持って抜く

コードを引っぱると、コードが傷付き、火災・感電の原因になります。

■ お手入れするときや、長期間使わない場合は、専用ACアダプターをコンセントから抜く

感電の原因になります。

乾電池について

⚠注意

■ ⊕⊖の向きに注意し、表示通りに正しく入れる

間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因になります。

■ 単3形乾電池以外は使用しない

■ 種類の異なる（たとえばアルカリ乾電池とマンガン乾電池）や新旧の乾電池を混ぜて使わない

■ 乾電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入したり、ショートさせない

■ 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池を電池ホルダーに入れない

禁 止

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になります。

■ ネックレスなどの金属物といっしょにしない（ショートさせない）

禁 止

乾電池の液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ 使わないときは、乾電池を取り出しておく

長時間入れたままにすると、乾電池からの液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因になります。

■ 本機を使用しているときに、乾電池を抜かない

禁 止

SDメモリーカードやUSB機器が破損したり、故障の原因になります。

■ 充電池を使わない

禁 止

電池の破裂・液もれ・発熱・発火により、火災・周囲を汚損する原因になります。

■ 液もれしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

■ 液もれした液が目に入ったとき

失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐにきれいな流水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。

■ 液もれした液が身体や衣服についたとき

やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな流水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状が出たときには、ただちに医師に相談してください。

あらかじめご承知いただきたいこと

■ かばんなどに入れるときは、重いものの下にならないように入れてください。

- 故障の原因になります。

■ ディスクは正しい位置にセットする。

- ディスクに傷を付けたり、故障の原因になります。

■ DVDは、使用できません。

■ デュアル（CDとDVDの両面）ディスクは正常に再生できません。

■ コピー禁止コード入りのCDは録音できません。

■ 本機を使用中、近くに設置したテレビ、ビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、テレビ、ビデオやオーディオ機器から離してください。

■ 結露が起きそうなときは、すぐに使わないでください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本体内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを結露（露付き）といいます。

- 本体を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおきた状態で本体をお使いになりますと、CDや部品を傷めることがあります。CDを取り出し、2～3時間周囲の温度になじませてから使用してください。

免責事項

- 本機やその他の機器の不具合によって曲ファイルや記録されているデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のご使用によって生じたその他の機器やデータの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、中断を含む）に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。
(JASRAC 本部：TEL.03-3481-2121)

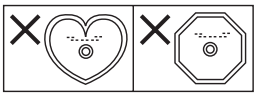
使用上のお願い

CDについてのご注意

●CDにインクジェット用CDラベルを貼ったCD、紙やシールを貼ったCDは使用しないでください。
また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるCDは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

(特殊形状CDの例)



●市販のCDスタビライザは使用できません。

●以下のようなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
◆本機に強い衝撃を与えたとき。
◆薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。

●コピーガード付きCDの再生について
CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをご確認ください。なお、CD規格に準拠しないCD再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはCDの発売元にお問い合わせください。

●MP3、WMAファイルが記録されたCDは再生できません。

CD-R/RWディスクについて

●本機では音楽CD形式（CD-DA形式）で保存されたCD-R/RWディスクを再生することができますが、録音された環境や内容によっては再生できないこともあります。

●未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。

●本機ではCD-R/RWディスクに録音することはできません。

本機で使用できるSDメモリーカード

●128MB ～ 2GBまでのSDメモリーカードおよび、miniSDメモリーカード（miniSDアダプターが必要）が使えます。ご利用の際は、必ずSDメモリーカードに付属の取扱説明書を合わせてお読みください。（2006年11月現在）

●64MB以下のSDメモリーカードは使用できません。

●SDHC（4GB以上）は使用できません。

●SDメモリーカードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。

●本機で認識できるのは5階層までのフォルダとファイルです。

●著作権保護されたファイルの再生はできません。

●USB接続のカードリーダーライターは使用できません。

●マルチメディアカードは使用できません。

●すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

ちょっとこれを！

- SDメモリーカードに録音できる時間・曲数はカードメーカーにより多少前後する場合があります。あらかじめご了承ください。

■録音の失敗および録音データの損失を防ぐために

- 再生・録音中は、絶対にSDメモリーカード、USB機器、専用ACアダプターや乾電池を抜かないでください。
- 録音データを、他の機器にバックアップしてください。
- 大切な録音や再生の場合は、あらかじめ正常に録音や再生ができることを確認してください。
- 本機の使用中および落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

使用上のお願い

本機で使用できるUSB機器

- 128MB以上のUSBマスストレージクラスに対応したUSB機器および、デジタルオーディオプレーヤーに記録されたMP3やWMAファイルを再生することができます。64MB以下のUSB機器は使用できません。
- 本機にデジタルオーディオプレーヤーを接続して音楽ファイルを録音し、そのデジタルオーディオプレーヤーで録音した音楽ファイルを再生するには、その機器がMP3ファイルのフォルダ再生に対応している必要があります。
- 本機で認識できるのは5階層までのフォルダとファイルです。
- 最大2000ファイルまで読み書きすることができます。2000を超えるファイルは再生および記録することができません。
- 著作権保護されたファイルの再生はできません。
- USBハブは使用できません。
- USB機器を本機に接続する場合は、1.5m以下のケーブルを使用してください。1.5mを超えるケーブルの場合、USB機器を認識しないことがあります。
- 内蔵メモリ以外にカードスロットを搭載するデジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器は、内蔵メモリのみ認識します。本機に接続して再生や録音を行うのは、内蔵メモリにしかできません。
- ハードディスクタイプのUSB機器は使用できません。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

ちょっとこれを！

- USBマスストレージクラスとは、USB端子に大容量記憶装置（マスストレージ）を接続するために定められた規格で、USBストレージクラスと呼ばれることもあります。この規格に準拠したUSB機器は、端子に接続すると外部記憶装置として認識されるため、デジタルオーディオプレーヤーなどでも外付けの記憶装置と同じように扱うことができます。使用するUSB機器がUSBマスストレージに対応しているかどうかは、USB機器メーカーにご確認ください。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合による録音の失敗および録音データの損失を防ぐために、

1.再生・録音中は絶対にSDメモリーカード、USB機器、専用ACアダプターや乾電池を抜かないでください。

2.録音前には必ず試し録音をしてください。

3.録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機の使用中および落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

録音・編集時のお願い

録音や編集をおこなっているときは、機器を振動させたり、SDメモリーカード、USB機器、専用ACアダプターや乾電池を抜かないでください。データが破損する場合があります。

使用上のお願い

MP3（エムピースリー）について

MP3とは、MPEG-1 Audio Layer3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しており、音質の劣化を少なくし、データ量を約1/10(128kbpsの場合)に圧縮することができるとされています。

WMA（ダブリューエムエー）について

WMAとは、Windows Media Audioの略でマイクロソフト社が開発したファイル形式で圧縮された音楽データです。「.wma」または「.WMA」という拡張子の付いたファイルをWMAファイルと呼びます。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しており、音質の劣化を少なくし、データ量を約1/20(64kbpsの場合)に圧縮することができるとされています。

登録商標について

●Microsoft® 、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

●miniSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

●SD SDロゴは商標です。

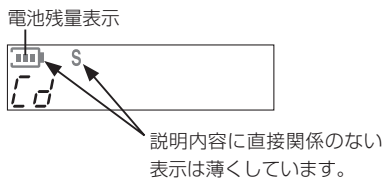
●その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™および® は明記していません。

再生中・再生後の音量にご注意ください

音楽CDに記録されている音声のレベルはディスクによって異なります。音声レベルが低いディスクを再生したときは、音量を上げないと通常のように聞こえない場合がありますが、本機の故障ではありません。また、音量を上げて音楽CDを再生した後に、音量を上げたまま別の音楽CDを再生すると、大きな音が出ることがありますのでご注意ください。このようなことを防ぐため、ディスクを再生するときは、事前に音量を下げるよう心がけてください。

■本文中のディスプレイ表示について

乾電池を電源として使用していることを前提に説明していますので、電池残量表示が表示されています。（専用ACアダプター使用時は表示されません。）また、説明内容に直接関係のない表示は、薄く表現しています。



■本文中のマークの見かた

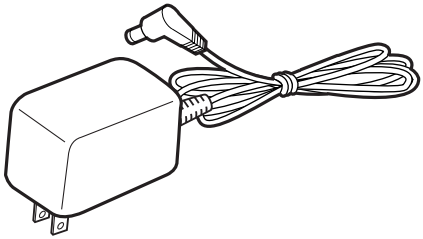
ちょっとこれを！

- 本機を上手に使うための情報です。

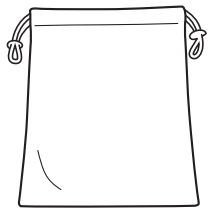
ご注意

- 本機を使う上で気を付けていただきたい情報です。

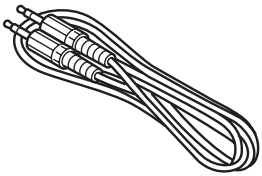
付属品の確認



専用ACアダプター（約1.8m）…1



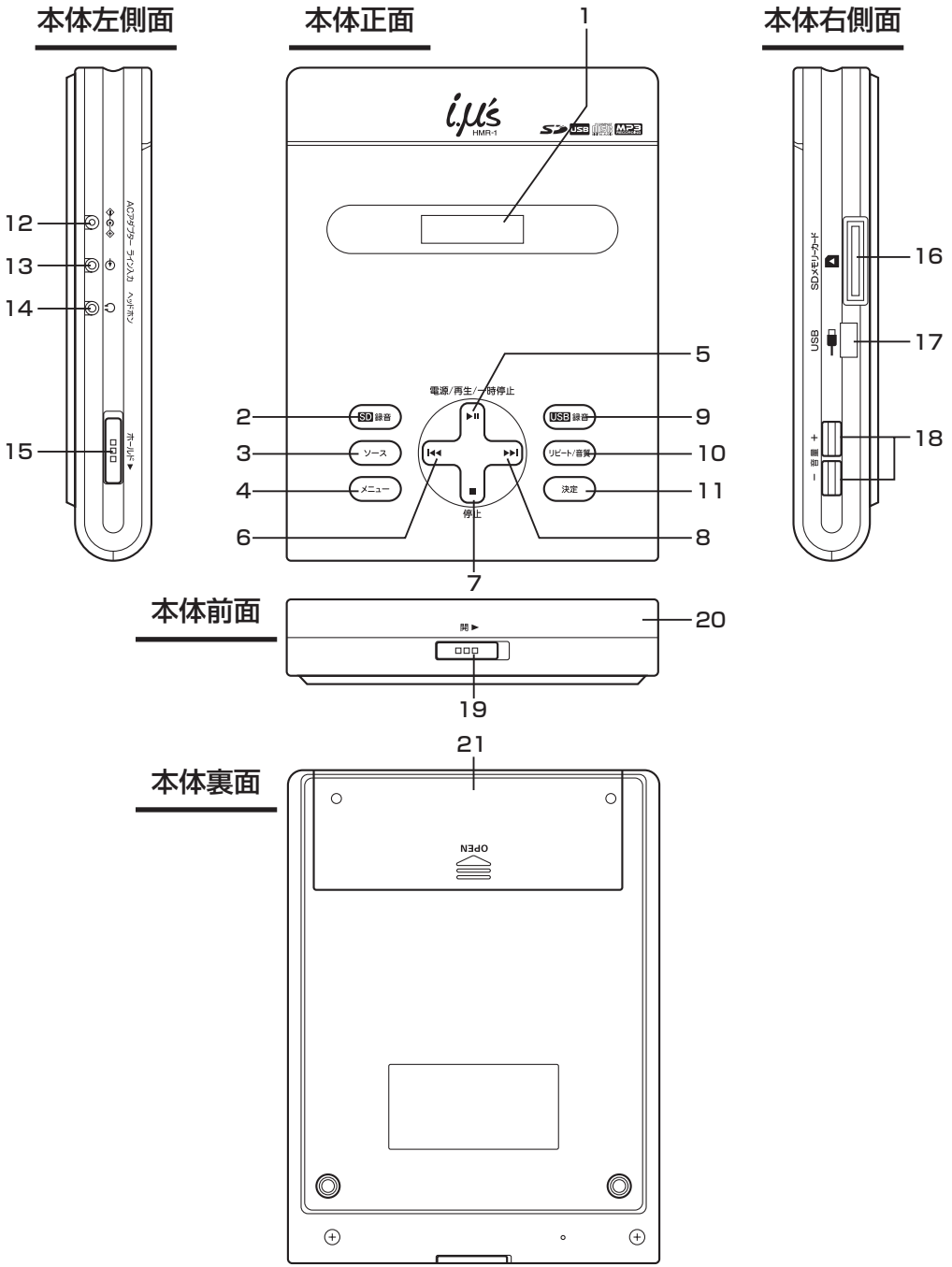
キャリングポーチ…1



専用ライン入力ケーブル（約1.5m）…1

本書（保証書付き取扱説明書）…1

各部のなまえ


本体左側面
本体正面
本体右側面
本体前面
本体裏面
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
電源/再生/一時停止
SD 録音
ソース
メニュー
USB 録音
リピート/音質
決定
停止
SDメモリーカード
USB
開►
OPEN

各部のなまえ

本体正面

1　ディスプレイ表示部
2　[SD録音] ボタン
3　[ソース] ボタン
4　[メニュー] ボタン
5　►II（電源/再生/一時停止）ボタン
6　I◄◄（スキップ/サーチ）ボタン
7　■（停止）ボタン
8　►►I（スキップ/サーチ）ボタン
9　[USB録音] ボタン
10 [リピート/音質] ボタン
11 [決定] ボタン

本体左側面

12 ACアダプター端子
13 ライン入力端子
14 ヘッドホン端子
15 ホールドスイッチ

本体右側面

16 SDメモリーカードスロット
17 USB端子
18 音量（+、−）ボタン

本体前面

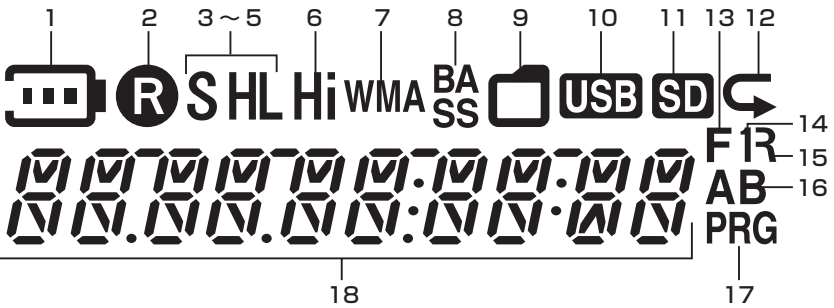
19 ふた [開] スイッチ
20 ふた

本体裏面

21 電池ホルダー

各部のなまえ

ディスプレイ表示



1 電池残量表示
2 録音中表示
3~5録音モード
6 録音速度表示（等倍速の場合は消灯）
7 WMAファイル再生中表示（MP3ファイル再生時は消灯）
8 BASS表示
9 フォルダ選択時の表示（ファイル選択時は消灯）
10 USB選択表示
11 SDメモリーカード選択表示
12 リピート表示
13 フォルダリピート表示
14 1曲リピート表示
15 ランダムリピート表示
16 ABリピート表示
17 プログラムリピート表示
18 10桁セグメント表示

■表示可能な文字一覧

※半角英数字を表示します。ただし、「X」、「Z」など表示できない文字は「_」（アンダーバー）で表示します。

数字

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

アルファベット（大文字）

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A	b	C	d	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
k	L	M	n	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
U	V	_	_	Y	_				

アルファベット（小文字）

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
u	v	_	_	y	_				

記号

–	_	'	(	)	[	]
-	_	'	(	)	[	]

1 2 1 2 1 2 1 2 3 1

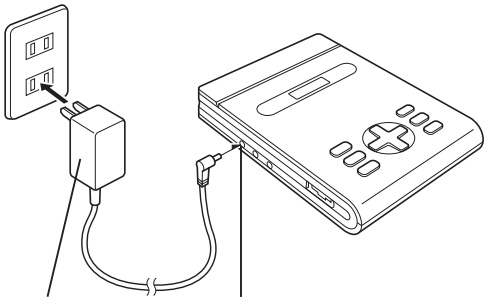
※場所により表示できない文字があります。
上記表示の「1」「2」のみで表示できる文字：「Q」「R」「V」「k」「v」「y」
表記の「2」でのみ表示できる文字：「T」
上記表示の「3」でのみ表示できる文字：「W」「w」
上記以外はどの位置でも表示されます。

電源の入れかた

専用ACアダプター（付属品）を使う

1 専用ACアダプター（付属品）を本体のACアダプター端子に接続する。

2 専用ACアダプターをコンセントに差し込む。



ご注意

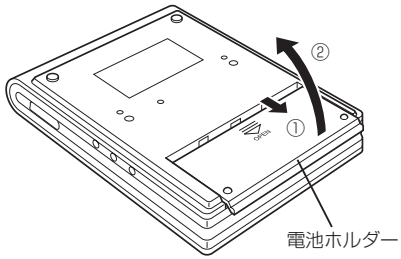
- 再生中、録音中、消去中、フォーマット中（SDメモリーカードのみ）に専用ACアダプターを抜くと、SDメモリーカードやUSB機器の内容が破損する場合がありますので、絶対に専用ACアダプターを抜かないでください。

ちょっとこれを！

- CDからUSB機器へ録音する場合、接続するUSB機器によっては乾電池の消耗が大きいものがありますので、USB機器を接続する場合は、専用ACアダプターの使用をおすすめします。
- 専用ACアダプターをコンセントに接続した状態で、乾電池をセットした場合でも電源は専用ACアダプターが優先されます。

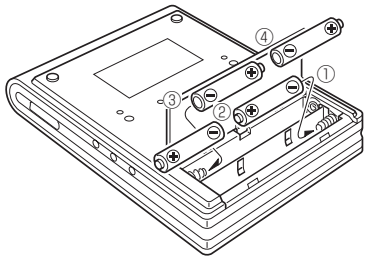
乾電池（別売）を入れる

1 本体裏面の電池ホルダーを開く。

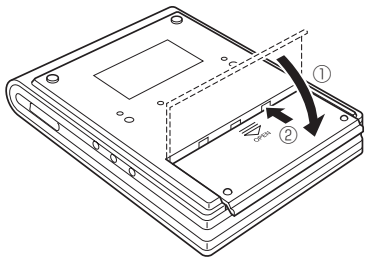


2 単3形アルカリ乾電池（4本）を入れる。

⊖側から入れてください。



3 電池ホルダーを閉じる。



電源の入れかた

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 乾電池の⊕⊖の向きを間違わないように入れてください。
- オキシライド乾電池を使用することはできますが、電池残量表示などが正しく表示されない場合があります。
- 再生中、録音中、消去中、フォーマット中（SDメモリーカードのみ）に乾電池を抜くと、SDメモリーカードやUSB機器の内容が破損しますので、絶対に乾電池を抜かないでください。
- 使い切った乾電池は各地方自治体の指示（条例）にしたがって処分してください。

■電池残量が少なくなってきたら

ディスプレイ表示部の電池残量表示が下図のように変わります。

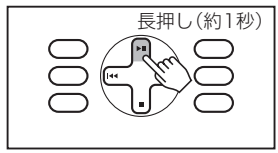
■電池残量表示が ▭ になったら

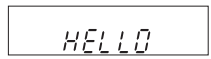
正しく動作しないことがありますので、早めに新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。
電池残量がなくなると、「LO bAT」と表示し、自動的に電源が切れます。

電源を入れる

►II ボタンを長押し（約1秒）する。

ディスプレイ表示部のバックライトが点灯し、1秒後に「HELLO」と表示されて電源が入ります。





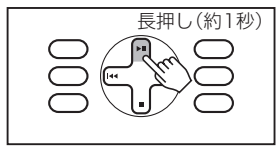
ちょっとこれを！

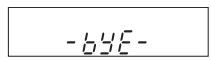
- 「HELLO」が表示される前に、►IIボタンを押すのをやめると電源は入りません。

電源を切る

►II ボタンを長押し（約1秒）する。

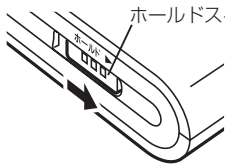
1秒後に「-byE-」と表示され、電源が切れます。

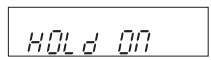




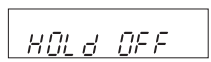
誤動作を防止する（ホールドスイッチ）

再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断させることを防止します。
スイッチを►の方向にスライドさせるとホールド機能が働きます。





スイッチを►の反対方向にスライドさせるとホールド機能を解除できます。



録音する前に

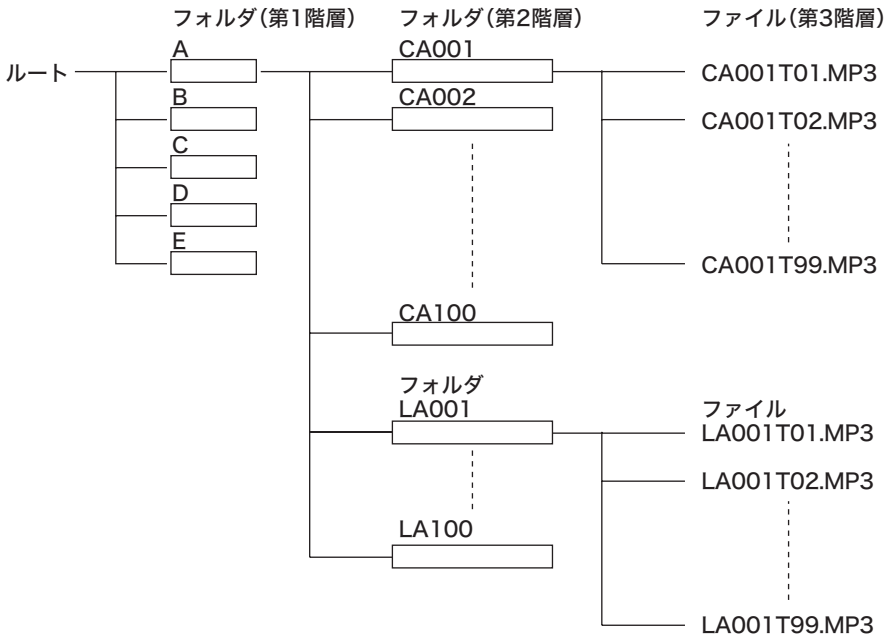
録音メニューについて

●CDの曲を、SDメモリーカード、またはUSB接続したデジタルオーディオプレーヤーなどに録音できます。(P.28 ～ 30参照)
●ポータブルMDプレーヤーなどの外部機器からライン入力し、SDメモリーカード、またはUSB接続したデジタルオーディオプレーヤーなどに録音できます。(P.31 ～ 34参照)
●連続録音時間は、1ファイル当たり最大約6時間です。

フォルダ・ファイル構成について

本機で録音した音楽データ(ファイル)は、自動的に作成されるフォルダに格納されます。
ルートディレクトリの下に、録音するファイルのフォルダ(第1階層)が自動的に作成されて、その下の階層に録音元(CDまたはライン入力)ごとのフォルダ(第2階層)が自動的に作成されます。
例:Aフォルダ→CA001(フォルダ)→CA001T01.MP3(ファイル)

・第2階層のフォルダは録音開始時、[SD録音]ボタンまたは[USB録音]ボタンを押すごとに自動的に作成されます。



録音する前に

■フォルダ名について

・CDからの録音の場合は「CAXXX」となり、ライン入力の場合は「LAXXX」となります。
・「CAXXX」や「LAXXX」の「A」は第1階層のフォルダを表します。
・第1階層「A」～「E」の各フォルダに対し、「XXX」は001から最大200まで順にフォルダ名を識別する番号が作成されます。（作成できるフォルダは各々最大200までです。）
・本機ではフォルダ名の変更はできません。

■ファイル名について

・CDからの録音の場合は「CAXXXTXX」となり、ライン入力の場合は「LAXXXTXX」となります。
・「CAXXX」および「LAXXX」はフォルダ名と同様で、「TXX」は01から最大99まで順にファイル名を識別する番号が作成されます。（CDの場合はトラック番号になります。）
・ライン入力時、1つのフォルダに99以上のファイルができたときは、「FILE FULL」と表示されて録音が終了します。
・「.MP3」はMP3ファイル形式であることを表します。
・本機ではファイル名の変更はできません。

ちょっとこれを！

- フォルダをパソコンで消去すると、そのフォルダ番号は空いたままとなります。フォルダCA001 ～ CA003の中から、CA002を消去しても「フォルダCA003」は間をつめて「フォルダCA002」にはなりません。フォルダ番号は、実際に存在するフォルダ数が200個になるまで、最大999まで作成できます。

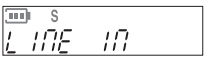
録音する前に

フォルダ（第1階層）の選択のしかた

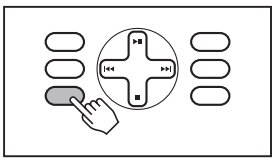
録音するときにSDメモリーカードやUSB機器の録音先のフォルダをディスプレイ表示部に表示させて選択することができます。
それぞれの操作時におこなってください。

1 SDメモリーカード、デジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をセットする。

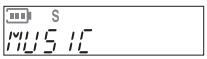
2 [ソース] ボタンを押して、「Cd」または「LInE In」を選択する。



3 [メニュー] ボタンを押す。

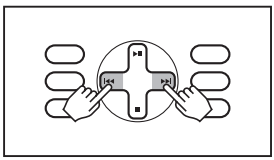


CDの場合

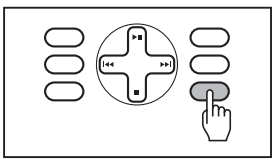


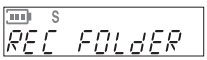
LINE INの場合

4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「REC」を選択する。

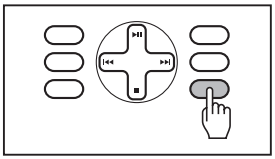


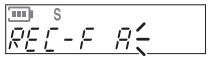
5 [決定] ボタンを押す。



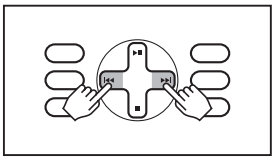


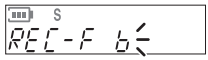
6 [決定] ボタンをもう一度押す。





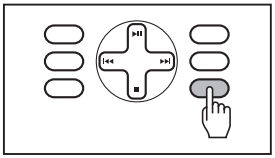
7 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、録音先のフォルダ「A」「b」「C」「d」「E」を選択する。

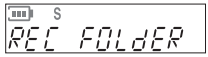




8 [決定] ボタンを押す。

「REC FOLdER」表示に変わり、録音先のフォルダが決定されます。





ちょっとこれを！

- 本機を初めてご使用の際に、フォルダを選択せずに録音を始めると、自動的にフォルダ「A」に録音されます。フォルダを選ばずに録音を始めると、自動的に前回の録音時に一番最後に選ばれていたフォルダに録音されます。

録音する前に

録音モードを選択する

録音モードを「SHQ」「HQ」「SP」「LP」の4種類から選択できます。
用途やSDメモリーカードの容量などに合わせて選んでください。
※CDを録音する場合はSPモード以上をおすすめします。

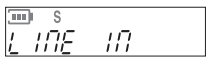
■モードごとの録音可能時間の目安

モード＼容量	512MB	1GB
SHQ(SH)：最高音質モード/192kbps	約5時間15分	約10時間30分
HQ(H)：高音質モード/160kbps	約6時間30分	約13時間
SP(S)：標準音質モード/128kbps	約8時間	約16時間
LP(L)：長時間モード/64kbps	約16時間	約32時間

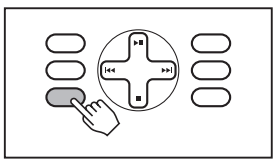
( )内はディスプレイ表示部の表示です。

1 SDメモリーカードやデジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をセットする。

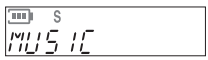
2 [ソース] ボタンを押して「Cd」または「LInE In」を選択する。



3 [メニュー] ボタンを押す。

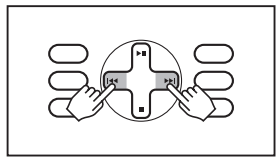


CDの場合

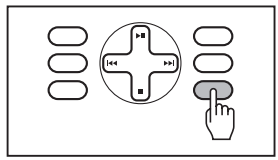


LINE INの場合

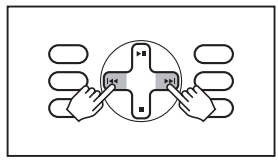
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「REC」を選択する。



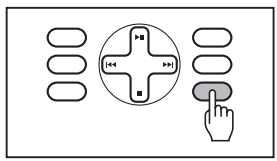
5 [決定] ボタンを押す。



6 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「REC MOdE」を選択する。

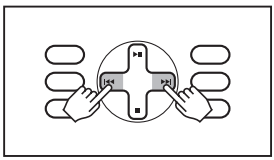


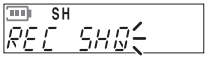
7 [決定] ボタンを押す。



録音する前に

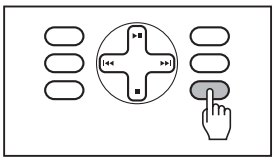
8 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、お好みの音質を選択する。

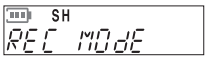




9 [決定] ボタンを押す。

「REC MOdE」表示に変わり、録音モードが決定されます。





ちょっとこれを！

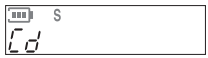
- 工場出荷時には「SP」に設定されています。
- 途中で操作を中止する場合は、[メニュー] ボタンを長押し(約1秒)または[ソース]ボタンを押してください。

録音速度を選択する（CDからの録音のみ）

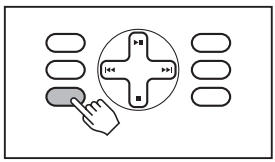
録音速度を「nORMAL」（ノーマル）「HIgH SPEEd」（ハイスピード）の2種類から選択できます。
「HIgH SPEEd」を選択すると「nORMAL」と比べて約1.7倍の速度で録音できます。

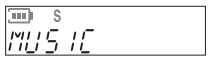
1 SDメモリーカードやデジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をセットする。

2 [ソース] ボタンを押して「Cd」を選択する。

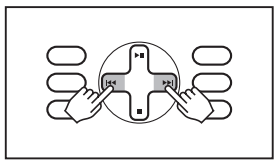


3 [メニュー] ボタンを押す。

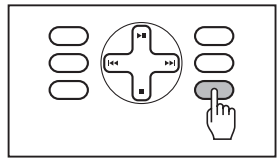


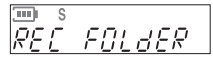


4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「REC」を選択する。

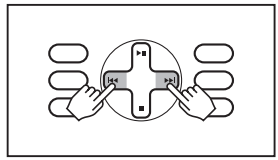


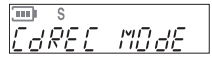
5 [決定] ボタンを押す。



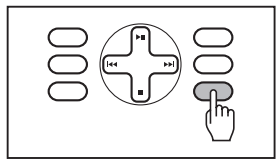


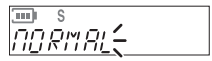
6 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「CdREC MOdE」を選択する。



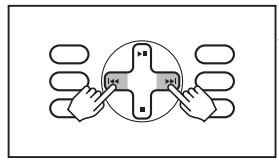


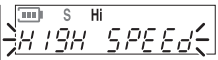
7 [決定] ボタンを押す。





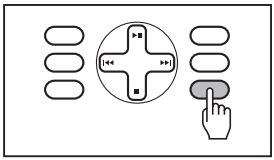
8 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、お好みの録音速度を選択する。

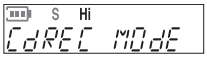




9 [決定] ボタンを押す。

「CdREC MOdE」表示に変わり、録音速度が決定されます。





ちょっとこれを！

- 工場出荷時には「nORMAL」に設定されています。
- 途中で操作を中止する場合は、［メニュー］ボタンを長押し（約1秒）または［ソース］ボタンを押してください。
- 「HIgH SPEEd」に選択した場合、ディスプレイ表示部に「Hi」と表示されます。

ご注意

- 「HIgH SPEEd」（ハイスピード）録音中、音声は聞こえません。
- 録音速度を「HIgH SPEEd」に設定していても、CD再生中に［SD録音］ボタン、または［USB録音］ボタンを押すとCDを再生しながら等倍速にて録音され、「HIgH SPEEd」（ハイスピード）録音はされません。

録音する前に

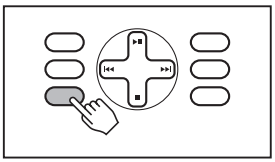
シンクロ録音を設定する
（ライン入力録音のみ）

ライン入力録音の際、外部機器での再生と同時に録音を始め、再生終了後、自動的に録音が停止します。
※無音時間が10秒続くと録音を停止します。

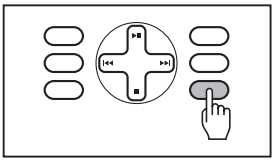
1 SDメモリーカードやデジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をセットする。

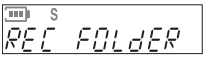
2 [ソース] ボタンを押して「LInE In」を選択する。

3 [メニュー] ボタンを押す。

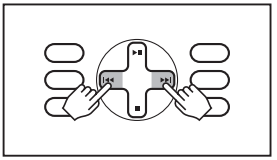


4 [決定] ボタンを押す。

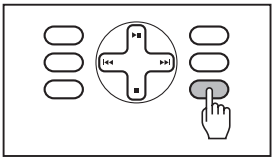




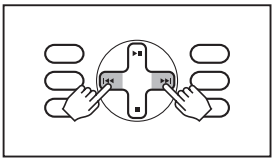
5 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「SynCRO REC」を選択する。

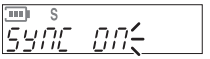


6 [決定] ボタンを押す。



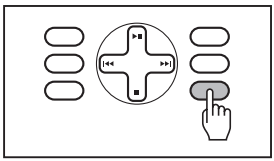
7 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「SynC On」を選択する。

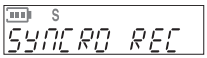




8 [決定] ボタンを押す。

「SynCRO REC」表示に変わり、シンクロ録音が決定されます。





ちょっとこれを！

- 工場出荷状態は「On」に設定されています。
- 途中で操作を中止する場合は、[メニュー] ボタンを長押し(約1秒)または[ソース]ボタンを押してください。

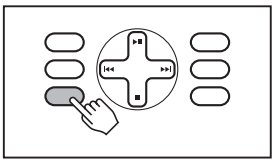
自動無音分割機能について
（ライン入力録音のみ）

自動無音分割機能を設定すると、録音中に、設定した時間以上に無音時間が続くと、現在録音しているファイルを閉じて1つのファイルとして保存します。
これによって曲間の頭出しをスムーズにおこなうことができます。
無音時間は1秒間・2秒間・3秒間・4秒間に設定できます。
※無音時間中は、ずっと録音待機を継続しています。

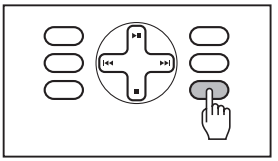
1 SDメモリーカードやデジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をセットする。

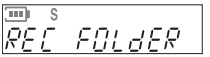
2 [ソース] ボタンを押して「LInE In」を選択する。

3 [メニュー] ボタンを押す。

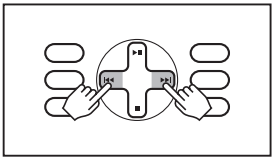


4 [決定] ボタンを押す。

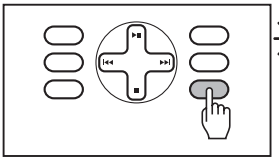


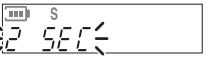


5 ►►Iボタン、またはI◄◄ボタンを押して、「AUTO dIV」を選択する。

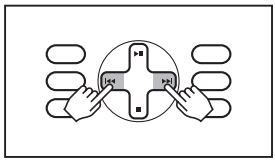


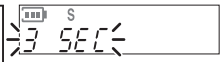
6 [決定] ボタンを押す。





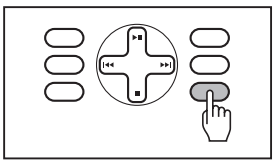
7 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「1 SEC」「2 SEC」「3 SEC」「4 SEC」か「OFF」かを選択する。

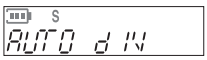




8 [決定] ボタンを押す。

「AUTO dIV」表示に変わり、自動無音分割が決定されます。





ご注意

- 録音するファイルが大きい場合、またはSDメモリーカードやUSB機器によっては、ファイルの書き込みに時間がかかり、次に録音されるファイルの出だし部分が録音されずに切れる場合があります。

ちょっとこれを！

- 工場出荷時には「2 SEC」に設定されています。
- ライン入力している外部機器の録音状況（ノイズなど）によっては自動無音分割できない場合があります。そのときは手動でファイル分割をしてください。（P.32・33参照）
- 自動無音分割で録音中は［SD録音］または［USB録音］ボタンを押しても一時停止できません。
- 99ファイル目を録音中に、設定した時間以上無音録音が続くと、ファイルを閉じて録音を終了します。

CDを録音する

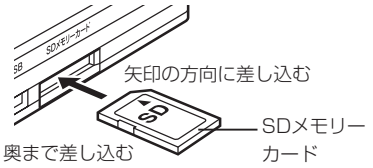
SDメモリーカードに録音する

CDの曲（トラック）ごとにファイルができます。
例：20曲なら20ファイルできます。

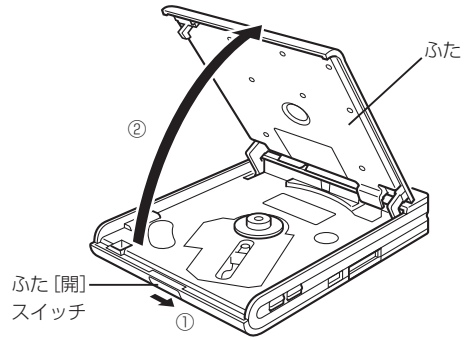
ご注意

- 録音する際は、専用ACアダプターの使用をおすすめします。
- 乾電池でご使用の場合は、録音する前に電池残量が充分にあることを確認してください。
- 録音中およびディスプレイに「RECORdIng」と表示中は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。
- 書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。（P.58参照）

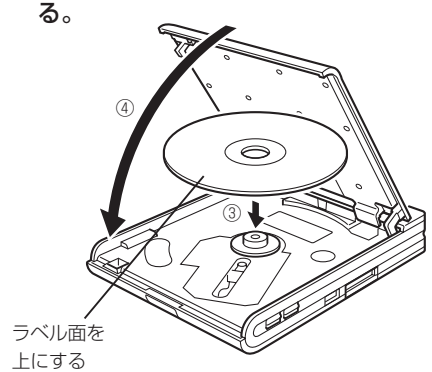
1 SDメモリーカードを、SDメモリーカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む。



2 ふた［開］スイッチをスライドさせて、ふたを開ける。



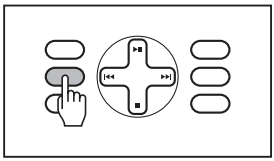
3 録音するCDをセットして、ふたを閉じる。



CDを録音する

4 電源を入れる。(P.16参照)

5 [ソース] ボタンを押して、「Cd」を選択する。

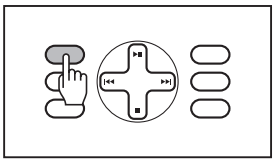


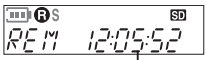
6 録音するフォルダを選択する。(P.19参照)

7 [SD録音] ボタンを押す。

録音が始まります。

※ディスプレイ表示部には録音残時間 (録音可能な残り時間) の目安が表示され、録音が進むにつれ表示時間が減っていきます。





録音残時間

※「HIgh SPEEd」(ハイスピード) 録音中は、一時停止できません。

ご注意

- ■ボタンを押して録音を終了した場合は、SDメモリーカードに書き込み作業をしておりますので、「RECORdIng」表示が消えるまで、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。

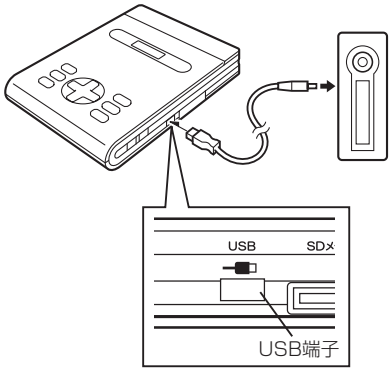
ちょっとこれを！

- 録音を途中で中止するには、■ボタンを押してください。再度[SD録音]ボタンを押した場合には、新しいフォルダ(第2階層)が作成されます。(P.17参照)
- 録音を一時停止するには、[SD録音] ボタンを押してください。再度押すと、再び録音が始まります。この場合は、同じフォルダ・ファイルに録音が継続されます。
- 音量(P.38)、イコライザ(P.47・48)、BASS(P.46)を設定しても録音には反映されません。
- 本機でSDメモリーカードに録音したデータは、本機以外では再生できない場合があります。
- 録音中に [ソース] ボタンを長押し(約1秒)すると、CDの再生経過時間を表示します。
- 曲(トラック)をまたがっての録音一時停止はできません。
- CD録音時は、リピート設定してもリピート録音できません。
- SDメモリーカードによっては、書き込みに時間がかかる場合があり、曲間で録音残時間表示が止まることがありますが、ファイルの書き込みが終了すると、次のファイルの録音を開始します。

CDを録音する

USB機器に録音する

1 デジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をUSB端子に接続する。



ご注意

- 録音する際は、専用ACアダプターの使用をおすすめします。
- 乾電池でご使用の場合は、録音する前に電池残量が充分にあることを確認してください。
- USB機器を接続した場合、本機からUSB機器に電源が供給され、乾電池が早く消耗しますので、使用されないときはUSB機器を取り外してください。
- 録音中およびディスプレイに「RECORdIng」と表示中は、絶対にUSB機器を抜かないでください。

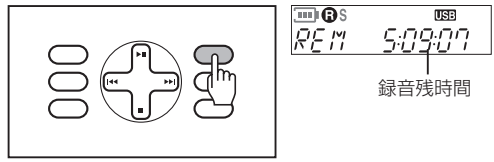
2 P.28・29の手順2 ～ 5の要領で、CDをセットして電源を入れ、「Cd」を選択する。

3 録音するフォルダを選択する。(P.19参照)

4 [USB録音] ボタンを押す。

録音が始まります。

※ディスプレイ表示部には録音残時間（録音可能な残り時間）の目安が表示され、録音が進むにつれ表示時間が減っていきます。



※「HIgh SPEEd」（ハイスピード）録音中は、一時停止できません。

ご注意

- ■ボタンを押して録音を終了した場合は、USB機器に書き込み作業をしておりますので、「RECORdIng」表示が消えるまで、USB機器を絶対に抜かないでください。

ちょっとこれを！

- 録音を途中で中止するには、■ボタンを押してください。再度[USB録音]ボタンを押した場合には、新しいフォルダ（第2階層）が作成されます。(P.17参照)
- 録音を一時停止するには、[USB録音] ボタンを押してください。再度押すと、再び録音が始まります。この場合は、同じフォルダ・ファイルに録音が継続されます。
- 音量(P.38)、イコライザ(P.47・48)、BASS(P.46)を設定しても録音には反映されません。
- 本機でUSB機器に録音したデータは、本機以外では再生できない場合があります。
- 録音中に [ソース] ボタンを長押し（約1秒）すると、CDの再生経過時間を表示します。
- 曲（トラック）をまたがっての録音一時停止はできません。
- CD録音時は、リピート設定してもリピート録音できません。
- USB機器によっては、書き込みに時間がかかる場合があり、曲間で録音残時間表示が止まることがありますが、ファイルの書き込みが終了すると、次のファイルの録音を開始します。

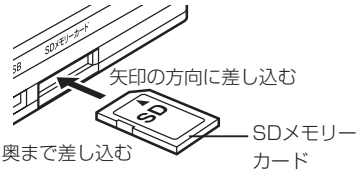
ラインン入力で録音する

SDメモリーカードに録音する

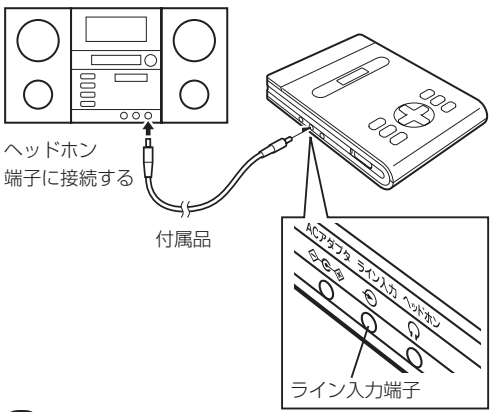
ご注意

- 録音する際は、専用ACアダプターの使用をおすすめします。
- 乾電池でご使用の場合は録音する前に電池残量が充分にあることを確認してください。
- 録音中およびディスプレイに「RECORdIng」と表示中は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。
- 書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。(P.58参照)

1 SDメモリーカードを、SDメモリーカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む。

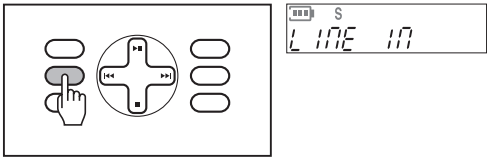


2 専用ライン入力ケーブル(付属:3.5φ)で、コンポやラジカセ、MDプレーヤーなどの外部機器のヘッドホン端子と本体のライン入力端子を接続する。



3 電源を入れる。(P.16参照)

4 [ソース] ボタンを押して、「LInE In」を選択する。



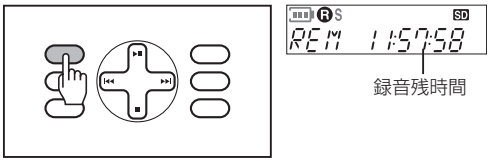
5 録音するフォルダを選択する。(P.19参照)

6 [SD録音] ボタンを押す。

録音が始まります。

※録音が始まるまで時間がかかる場合があります。

※ディスプレイ表示部には、録音残時間(録音可能な残り時間)の目安が表示され、録音が進むにつれ表示時間が減っていきます。



7 ディスプレイ表示部に録音時間が表示、または点滅表示されてから、外部機器の音源を再生する。

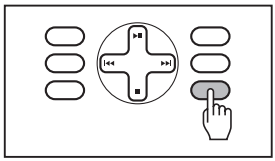
ご注意

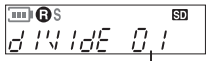
- ラジオやテレビを録音時、電波の弱い場所や地域では、音声にノイズが発生します。
  その場合は、本機および専用ライン入力ケーブルをできるだけラジオやテレビから離して録音してください。
  ノイズを軽減することができます。

ライン入力で録音する

ファイルを分割する

録音中に[決定]ボタンを押すと、ファイルが分割されます。
※自動無音分割機能を設定中はファイル分割できません。





ファイル分割回数

※約1秒間表示

ちょっとこれを！

- 最大99ファイルまで分割できます。
- 99ファイル目を録音中に［決定］ボタンを押すと、「FILE FULL」と表示され録音を終了します。
- ファイル分割の間隔は2秒以上必要です。

ご注意

- 本機には録音レベルを調節する機能がありません。録音元の外部機器の出力レベル（音量）が大きいと、ノイズやひずみが録音されることがあります。録音元の外部機器の音量を調節してから録音してください。大切な録音の前には、試し録りをして適正な録音レベルになっていることを確認してください。
- ラジオやテレビを録音時、電波の弱い場所や地域では、音声にノイズが発生します。
  その場合は、本機および専用ライン入力ケーブルをできるだけラジオやテレビから離して録音してください。ノイズを軽減することができます。
- 録音中の音声のモニター音量は、本体で調節してください。
- 1ファイル当たりの最大録音時間は、約6時間です。6時間以上録音するときは、■ボタンを押し、再度［SD録音］ボタンを押してください。

[シンクロ録音設定時]

- 録音元の外部機器から発生する機械的なノイズや音源に含まれるノイズでシンクロ録音が動作することがありますが、故障ではありません。

[自動無音分割機能設定時]

- 曲間が短かったり、曲間に雑音が多いと、区切られないことがあります。また、音の小さい部分や無音部分があると、曲中でも区切られてしまうことがあります。
- 録音するファイルが大きい場合、またはSDメモリーカードによっては、ファイルの書き込みに時間がかかり、次に録音されるファイルの出だし部分が録音されずに切れる場合があります。

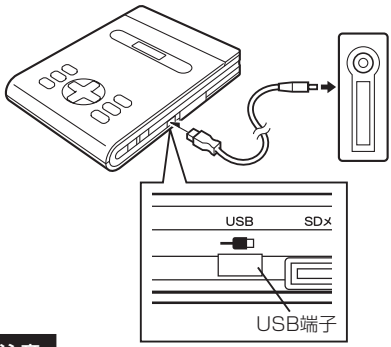
ちょっとこれを！

- 録音を途中で中止するには、■ボタンを押してください。再度[SD録音]ボタンを押した場合には、新しいフォルダ（第2階層）が作成されます。（P.17参照）
- 録音を一時停止するには、［SD録音］ボタンを押してください。再度押すと、再び録音が始まります。この場合は、同じフォルダ・ファイルに録音が継続されます。
- 音量（P.38）、イコライザ（P.47・48）、BASS（P.46）を設定しても録音には反映されません。
- 本機でSDメモリーカードに録音したデータは、本機以外では再生できない場合があります。

ライン入力で録音する

USB機器に録音する

1 デジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をUSB端子に接続する。



ご注意

- 録音する際は、専用ACアダプターの使用をおすすめします。
- 乾電池でご使用の場合は、録音する前に電池残量が充分にあることを確認してください。
- USB機器を接続した場合、本機からUSB機器に電源が供給され、乾電池が早く消耗しますので、使用されないときはUSB機器を取り外してください。
- 録音中およびディスプレイに「RECORdIng」と表示中は、絶対にUSB機器を抜かないでください。

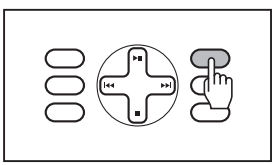
2 P.31の手順2 ～ 4の要領で外部機器をライン入力ケーブルで接続して電源を入れ、「LInE In」を選択する。

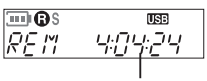
3 [USB録音] ボタンを押す。

録音が始まります。

※録音が始まるまで、時間がかかる場合があります。

※ディスプレイ表示部には、録音残時間（録音可能な残り時間）の目安が表示され、録音が進むにつれ表示時間が減っていきます。





録音残時間

4 ディスプレイ表示部に録音時間が表示、または点滅表示されてから、外部機器の音源を再生する。

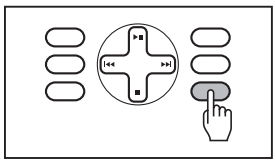
ご注意

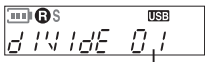
- ラジオやテレビを録音時、電波の弱い場所や地域では、音声にノイズが発生します。
  その場合は、本機および専用ライン入力ケーブルをできるだけラジオやテレビから離して録音してください。
  ノイズを軽減することができます。

ファイルを分割する

録音中に［決定］ボタンを押すと、ファイルが分割されます。

※自動無音分割機能を設定中はファイル分割できません。





ファイル分割回数

※約1秒間表示

ちょっとこれを！

- 最大99ファイルまで分割できます。
- 99ファイル目を録音中に［決定］ボタンを押すと、「FILE FULL」と表示され録音を終了します。
- ファイル分割の間隔は2秒以上必要です。

ライン入力で録音する

ご注意

- 本機には録音レベルを調節する機能がありません。録音元の外部機器の出力レベル（音量）が大きいと、ノイズやひずみが録音されることがあります。録音元の外部機器の音量を調節してから録音してください。大切な録音の前には、試し録りをして適正な録音レベルになっていることを確認してください。
- ラジオやテレビを録音時、電波の弱い場所や地域では、音声にノイズが発生します。
  その場合は、本機および専用ライン入力ケーブルをできるだけラジオやテレビから離して録音してください。
  ノイズを軽減することができます。
- 録音中の音声のモニター音量は、本体で調節してください。
- 1ファイル当たりの最大録音時間は、約6時間です。6時間以上録音するときは、■ボタンを押し、再度［USB録音］ボタンを押してください。

[シンクロ録音設定時]

- 録音元の外部機器から発生する機械的なノイズや音源に含まれるノイズでシンクロ録音が動作することがありますが、故障ではありません。

[自動無音分割機能設定時]

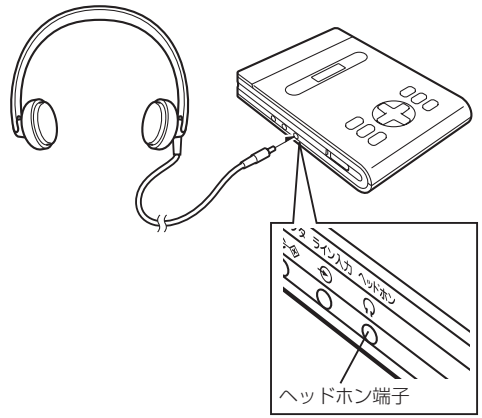
- 曲間が短かったり、曲間に雑音が多いと、区切られないことがあります。また、音の小さい部分や無音部分があると、曲中でも区切られてしまうことがあります。
- 録音するファイルが大きい場合、またはUSB機器によっては、ファイルの書き込みに時間がかかり、次に録音されるファイルの出だし部分が録音されずに切れる場合があります。
- 99ファイル目を録音中に、設定した時間以上無音録音が続くと、ファイルを閉じて録音を終了します。

ちょっとこれを！

- 録音を途中で中止するには、■ボタンを押してください。再度[USB録音]ボタンを押した場合には、新しいフォルダ（第2階層）が作成されます。（P.17参照）
- 録音を一時停止するには、［USB録音］ボタンを押してください。再度押すと、再び録音が始まります。この場合は、同じフォルダ・ファイルに録音が継続されます。
- 音量（P.38）、イコライザ（P.47・48）、BASS（P.46）を設定しても録音には反映されません。
- 本機でUSB機器に録音したデータは、本機以外では再生できない場合があります。

音楽を楽しむ前に

再生する前に本体のヘッドホン端子（3.5φ）にヘッドホン（市販品）を接続してください。



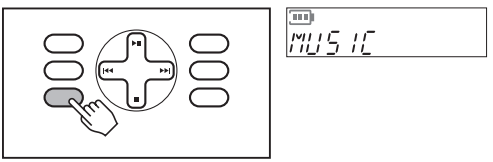
フォルダ・ファイルの選択のしかた
(SDメモリーカード・USB機器のみ/P.17・18参照)

再生するソースのフォルダやファイルをディスプレイ表示部に表示させて選択することができます。それぞれの操作時におこなってください。

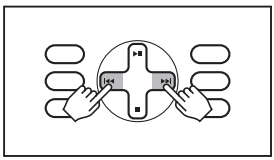
1 SDメモリーカードまたはUSB機器をセットする。

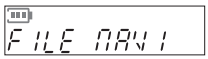
2 ［ソース］ボタンを押して、「Sd」または「USb」を選択する。

3 ［メニュー］ボタンを押す。



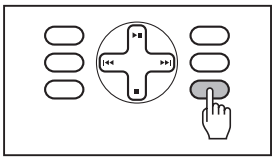
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「FILE nAVI」を選択する。

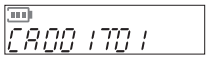




5 [決定] ボタンを押す。

現在選択されているファイル（第3階層）が表示されます。

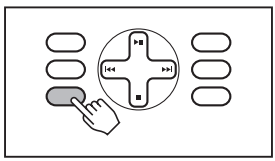




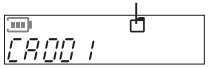
例：ファイル「CA001T01」を選択時

6 [メニュー] ボタンを押す。

1階層上のフォルダ（第2階層）が表示されます。



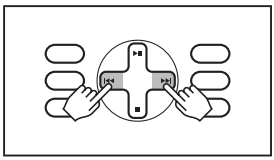
フォルダアイコン

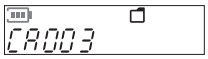


例：フォルダ「CA001」の場合

7 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押す。

次/前のフォルダ（第2階層）が表示されます。

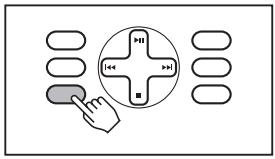




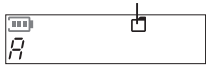
例：フォルダ「CA003」の場合

8 [メニュー]ボタンを押す。

1階層上のフォルダ（第1階層）が表示されます。



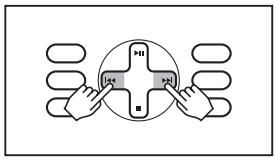
フォルダアイコン

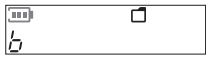


例：フォルダ「A」の場合

9 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押す。

次/前のフォルダ（第一階層）が表示されます。





例：フォルダ「b」の場合

ちょっとこれを！

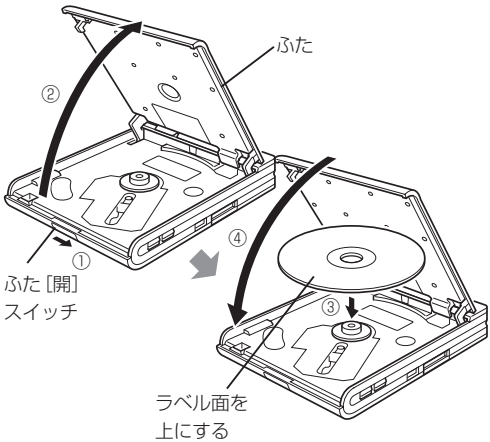
- 第1階層→第2階層→第3階層と次の階層に進むときは、[決定] ボタンを押してください。
- 第3階層→第2階層→第1階層と上の階層に戻るときは、[メニュー] ボタンを押してください。
- パソコンなどの外部機器で保存されたデータは第5階層まで再生できます。
- [メニュー] ボタンを長押し（約1秒）すると、ファイル（第3階層）に進めます。
- ファイルを表示するまでに時間がかかる場合があります。
- フォルダが選択されているときはフォルダアイコンが表示されます。ファイルが選択されているときは何も表示されません。

音楽を楽しむ

CDを再生する

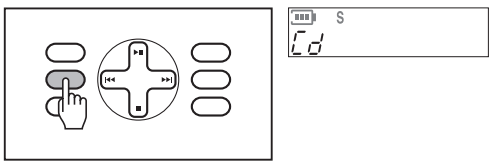
1 ふた [開] スイッチをスライドさせて、ふたを開ける。

2 再生するCDをセットして、ふたを閉じる。



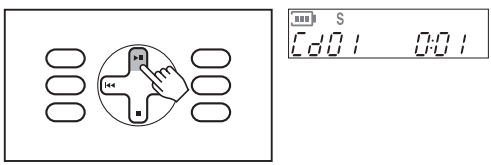
3 電源を入れる。(P.16参照)

4 [ソース] ボタンを押して、「Cd」を選択する。



5 ►►Iボタン、またはI◄◄ボタンを押して、再生する曲(トラック)を選択する。

6 ►IIボタンを押すと、再生が始まります。

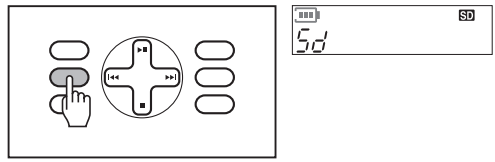


SDメモリーカードを再生する

1 再生できるSDメモリーカードを、SDメモリーカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む。

2 電源を入れる。(P.16参照)

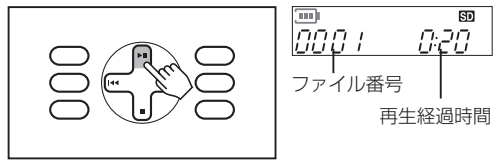
3 [ソース] ボタンを押して、「Sd」を選択する。



4 再生するフォルダ・ファイルを選択する。(P.34・35ページ参照)

5 ►IIボタンを押すと再生が始まります。

※「ファイル番号」と「ファイル名」は同じではありません。



ちょっとこれを！

- フォルダの再生では、各フォルダ内の再生順序が前後する場合があります。
- ファイルを選択中または再生中に[ソース]ボタンを長押し(約1秒)するとファイル名が表示されます。再度、[ソース]ボタンを長押し (約1秒) すると元の表示に戻ります。
- 本機以外で保存されたフォルダ名やファイル名は正しく表示されない場合があります。(P.14参照)

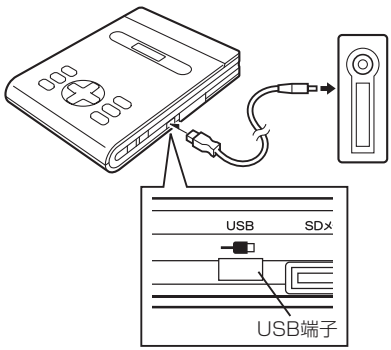
音楽を楽しむ

USB機器を再生する

ご注意

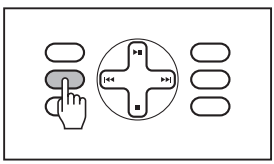
- 乾電池でご使用の場合は、電池残量が充分にあることを確認してください。
- USB機器を接続した場合、本機からUSB機器に電源が供給され、乾電池が早く消耗しますので、使用されないときはUSB機器を取り外してください。

1 デジタルオーディオプレーヤーなどのUSB機器をUSB端子に接続する。



2 電源を入れる。(P.16参照)

3 [ソース] ボタンを押して、「USb」を選択する。

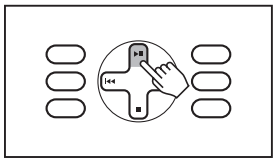


4 再生するフォルダ・ファイルを選択する。(P.34・35参照)

5 ►IIボタンを押すと「USb LOAd」と表示されて再生が始まります。

※再生が始まるまで、少し時間がかかる場合があります。

※「ファイル番号」と「ファイル名」は同じではありません。



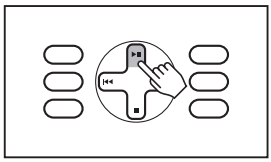
ちょっとこれを！

- フォルダの再生では、各フォルダ内の再生順序が前後する場合があります。
- ファイルを選択中または再生中に[ソース]ボタンを長押し(約1秒)すると、ファイル名が表示されます。再度、[ソース]ボタンを長押し (約1秒) すると元の表示に戻ります。
- 本機以外で保存されたフォルダ名やファイル名は正しく表示されない場合があります。(P.14参照)

音楽を楽しむ

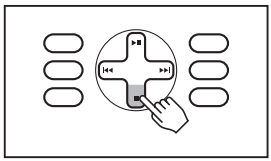
再生を一時停止する

再生中に►IIボタンを押すと、再生が一時停止し、再生経過時間が点滅します。
再度、►IIボタンを押すと、一時停止したところから再生されます。



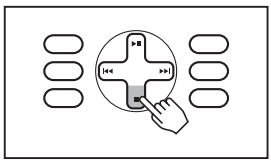
再生を停止する（CDの場合）

再生中に■ボタンを押すと、停止します。
再度、►IIボタンを押すと、そのCDの最初から再生されます。



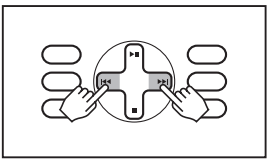
再生を停止する（SDメモリーカード・USB機器の場合）

再生中に■ボタンを押すと、停止します。
►IIボタンを押すと、停止した位置から再生されます。再生中に■ボタンを2回押すと、その曲の最初に戻ります。



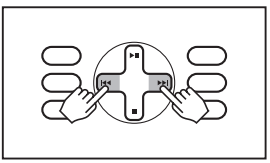
早送り・早戻しする

再生中に►►Iボタンを長押し（約1秒以上）すると、曲が早送りされ、I◄◄ボタンを長押し（約1秒以上）すると、曲が早戻しされます。
ボタンから指を離すと、通常再生に戻ります。



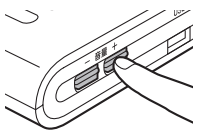
曲を送る・戻す

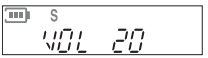
再生、または一時停止、停止中に►►Iボタンを押すと、次の曲が選択されます。
I◄◄ボタンを押すと、その曲の最初に戻り、続けて2回押すと、1つ前の曲が選択されます。



音量を調節する

音量（+,−）ボタンで音量を調節できます。





ちょっとこれを！

- 音量は0 ～ 30の範囲で調節できます。
- ボタンを長押しすると、早く調節できます。
- 音量は電源を切っても記憶されています。ただし、音量が20以上に設定されている場合、電源を切って再度入れると、自動的に20に設定されます。

音楽を楽しむ

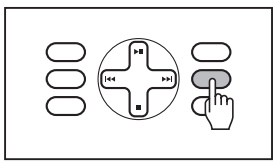
リピート再生する（ライン入力を除く）

リピート再生には以下のモードがあります。お好みに合わせて選択してください。

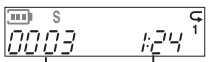
- 🔁1(REPEAT ONE) ……1曲のみを繰り返し再生する。
- 🔁(REPEAT ALL) ……すべての曲を繰り返し再生する。
- 🔁F(REPEAT FOLDER) …選択されている曲が入っているフォルダ内の曲を繰り返し再生する。（SDメモリーカード・USB機器再生時のみ）

■［リピート/音質］ボタンで設定する

再生中、または停止中、一時停止中に［リピート/音質］ボタンを押すと、リピートモードが選択できます。
🔁1(REPEAT ONE)→🔁(REPEAT ALL)→🔁F(REPEAT FOLDER)→表示なし(REPEAT OFF)の順に表示が変わります。

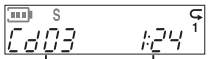


SD/USBの場合



ファイル番号　再生経過時間

CDの場合



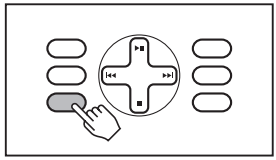
トラック番号　再生経過時間

ちょっとこれを！

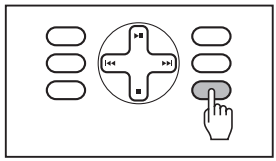
- CDの時は「REPEAT FOLdER」は表示されません。
  🔁1(REPEAT ONE)→🔁(REPEAT ALL)→表示なし(REPEAT OFF)
- ライン入力の場合は設定できません。

■［メニュー］ボタンから設定する

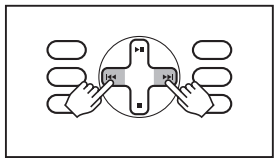
1 ［メニュー］ボタンを押す。



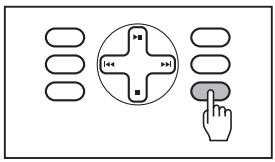
2 ［決定］ボタンを押す。



3 ▶▶|ボタン、または|◀◀ボタンを押して、「REPEAT」を選択する。

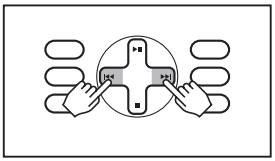


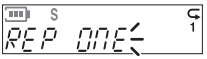
4 ［決定］ボタンを押す。



※次ページに続きます。

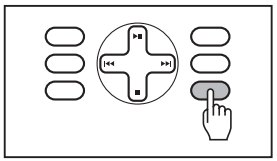
5 ▶▶|ボタン、または|◀◀ボタンを押して、お好みに合ったリピートモードを選択する。

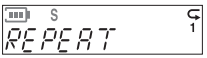




6 [決定] ボタンを押す。

「REPEAT」表示に変わり、リピートモードが決定されます。





ちょっとこれを！

- 工場出荷時には「OFF」に設定されています。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。
- 録音時はリピート再生は動作しません。

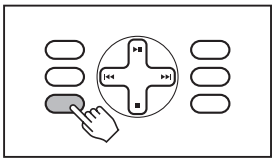
音楽を楽しむ

プログラム再生をする（CDのみ）

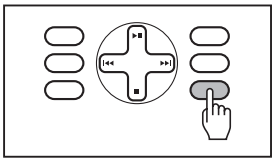
CD内の曲から選択した曲（最大20曲）をお好みの順番で再生できます。
CDがセットされた状態で操作してください。

1 [ソース] ボタンを押して、「Cd」を選択する。

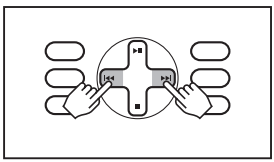
2 [メニュー] ボタンを押す。



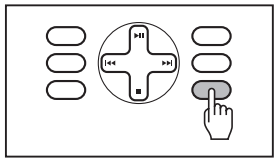
3 [決定] ボタンを押す。



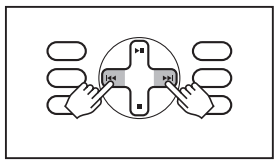
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「PROgRAM」を選択する。



5 [決定] ボタンを押す。

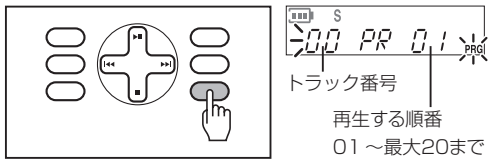


6 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「PRg SET」を選択する。



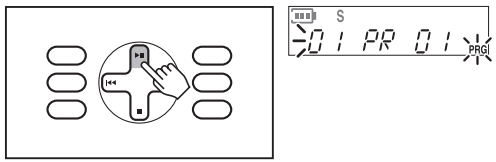
7 [決定] ボタンを押す。

「00 PR 01」が表示されます。
※「00」は再生する曲のトラック番号です。
※「01」は再生する順番を表します。



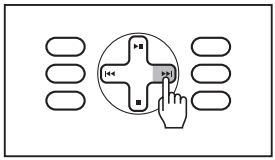
8 ▶IIボタン、または■ボタン押して、再生したい曲を選択する。

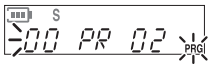
※この場合、1曲目を選んでいます。



9 ▶▶Iボタンを押す。

1番目の曲が決定されて、次の「00 PR 02」が表示されます。

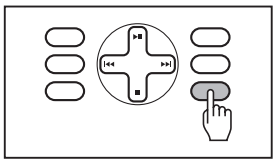


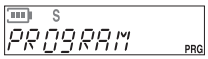


10 手順8・9を繰り返す。

11 [決定] ボタンを押す。

「PROgRAM」表示に変わり、プログラム再生が決定されます。



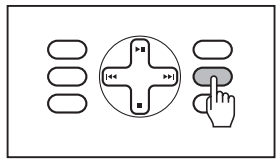


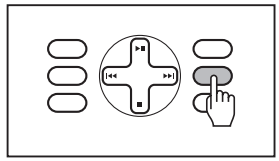
ちょっとこれを！

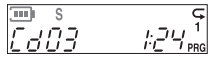
- ふたを開けると、プログラム再生は解除されます。
- プログラム再生中は、ランダム再生（P.44・45参照）はできません。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。
- プログラム再生を設定した後に[SD録音]または[USB録音]ボタンを押すと、設定した内容で録音されます。

■プログラム再生を設定後にリピート再生する

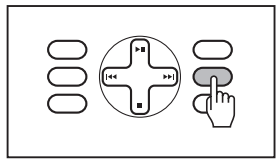
[リピート/音質] ボタンを押すと、P.39と同様に各リピートモードでプログラム再生されます。
表示は以下のようになります。

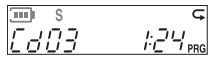






※プログラムした曲のうち指定した1曲のみがリピート再生されます。





※プログラムした全曲がリピート再生されます。

ちょっとこれを！

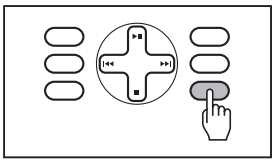
- 工場出荷時には「OFF」に設定されています。
- 途中で設定を停止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

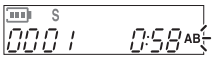
A-Bリピート再生をする
(ライン入力を除く)

再生中の曲の聴きたい部分の始点 (A地点) から終点 (B地点) までを決め、繰り返し再生できます。

1 曲の再生中に、繰り返して聴きたい部分の始点で [決定] ボタンを押す。

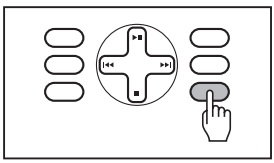
A地点が決定されます。





2 聴きたい部分の最後で [決定] ボタンを押す。

B地点が決定されます。



3 A地点からB地点までが繰り返し再生されます。

■A-Bリピート再生の解除のしかた

再生中に [決定] ボタン、■ボタン、または⏮ボタン、⏭ボタンのいずれかを押すと、解除されます。「AB」表示が消えます。

ちょっとこれを！

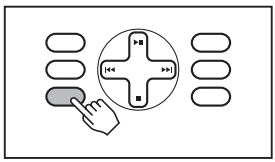
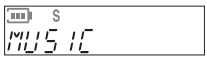
- A-Bリピート再生設定中、A地点を決定してから、そのまま再生中のトラック・ファイルの最後まで到達した場合、A-Bリピート再生設定はキャンセルされます。
- A地点とB地点の設定間隔は3秒以上必要です。
- 録音時はA-Bリピート再生は動作しません。

音楽を楽しむ

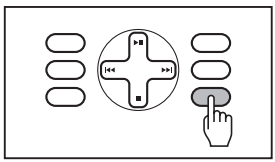
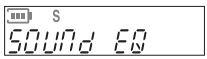
ランダム再生をする（ライン入力を除く）

CDまたは選択したフォルダ内の曲を、順不同で再生します。
リピート再生を設定している場合は、各リピートモードで、曲をランダム再生します。

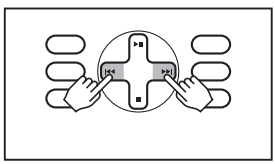
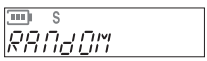
1 [メニュー] ボタンを押す。

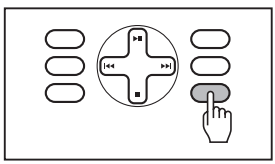
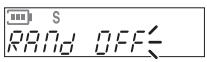
2 [決定] ボタンを押す。

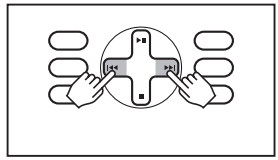
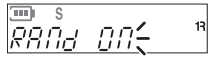
3 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「RAndOM」を選択する。

4 [決定] ボタンを押す。

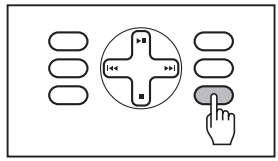
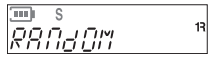



5 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「RAnd On」を選択する。

6 [決定] ボタンを押す。

「RAndOM」表示に変わり、ランダム再生が決定されます。

■ランダム再生の解除のしかた

手順1 ～ 4の要領で操作を行い、手順5で「RAnd OFF」を選択し[決定]ボタンを押す。

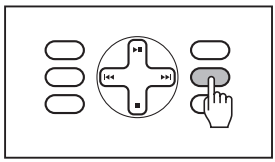
ちょっとこれを！

- CD選択時、プログラム再生の両方を設定している場合は、プログラム再生が優先されます。プログラム再生を解除するとランダム再生できます。
- ランダム再生を設定した後に[SD録音]または[USB録音]ボタンを押すと、設定した内容で録音されます。

音楽を楽しむ

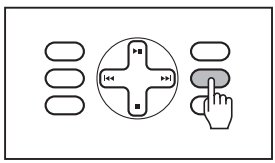
■ランダム再生設定後にリピートを設定する

[リピート/音質] ボタンを押すと、P.39と同様に各リピートモードでランダム再生されます。
表示は以下のようになります。



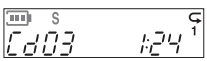
SD/USBの場合

CDの場合

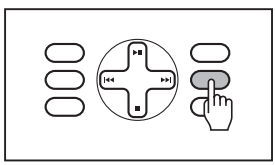


SD/USBの場合

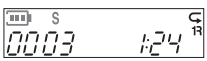
CDの場合



※指定した1曲のみがリピート再生されます。

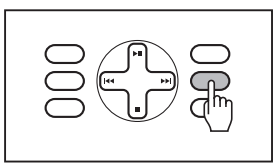


SD/USBの場合

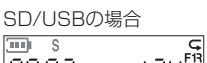


CDの場合

※ランダム再生の全曲がリピート再生されます。



SD/USBの場合



※CDのときは「REPEAT FOLdER」は表示されません。
※ランダム再生を選択したフォルダ内の全曲がリピート再生されます。

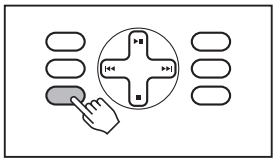
ちょっとこれを！

- 工場出荷時には「OFF」に設定されています。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

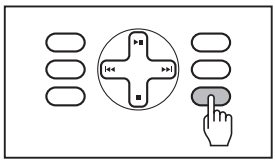
BASSを設定する（ライン入力を除く）

BASSを設定（「On」）にすると、低音がより強調された迫力のあるサウンドが楽しめます。

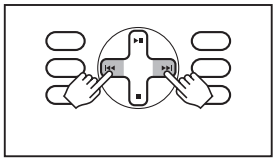
1 [メニュー] ボタンを押す。



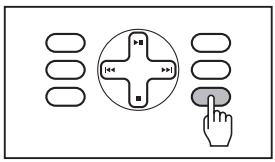
2 [決定] ボタンを押す。



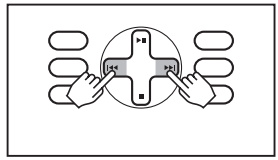
3 ►►Iボタン、またはI◄◄ボタンを押して、「bASS」を選択する。



4 [決定] ボタンを押す。

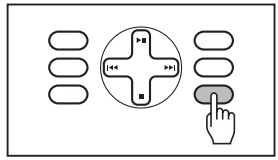


5 ►►Iボタン、またはI◄◄ボタンを押して、「bASS On」を選択する。



6 [決定] ボタンを押す。

「bASS」表示に変わり、BASSが決定されます。



■BASSの解除のしかた

手順1 ～ 4の要領で操作を行い、手順5で「bASS OFF」を選択し、[決定]ボタンを押す。

ちょっとこれを！

- 工場出荷時には「OFF」に設定されています。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

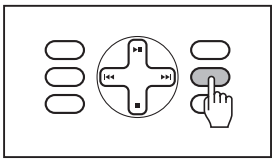
音楽を楽しむ

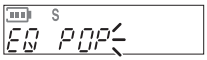
イコライザを設定する(ライン入力を除く)

曲を再生するときに曲の内容に合わせて、NORMAL・POP・ROCK・CLASSICからお好みの音質で聴くことができます。

■[リピート/音質] ボタンで設定する

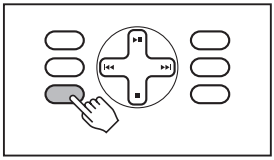
再生中、または停止中、一時停止中に [リピート/音質] ボタンを長押し (約1秒) するごとに、イコライザを下記の順で設定できます。
「EQ POP」→「EQ ROCk」→「EQ CLASSIC」→「EQ nORMAL」

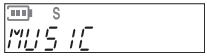




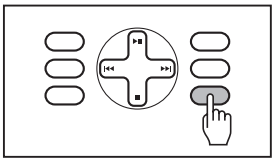
■[メニュー] ボタンから設定する

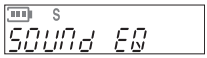
1 [メニュー] ボタンを押す。



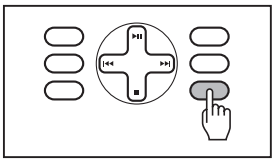


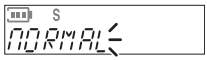
2 [決定] ボタンを押す。





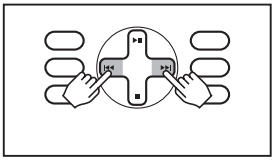
3 [決定] ボタンをもう一度押す。





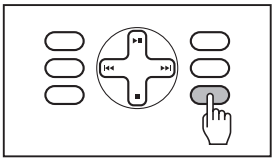
※次ページに続きます。

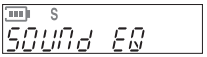
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、お好みの音質を選択する。



5 [決定] ボタンを押す。

「SOUnd EQ」表示に変わり、イコライザが決定されます。





ちょっとこれを！

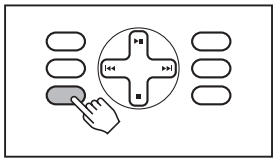
- 工場出荷時には「nORMAL」に設定されています。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

その他の設定

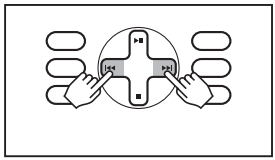
オートパワーオフを設定する

停止状態で操作しない状態が続いたとき、自動的に電源が切れる時間を設定できます。
時間は1分間・5分間・10分間に設定できます。

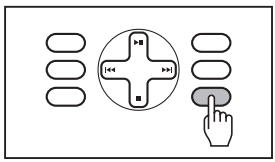
1 [メニュー] ボタンを押す。



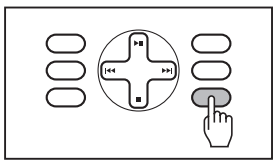
2 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「COMMOn」を選択する。



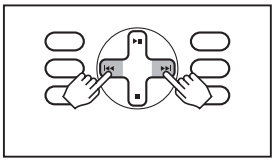
3 [決定] ボタンを押す。



4 [決定] ボタンをもう一度押す。

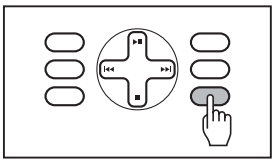


5 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「1 MIn」「5 MIn」「10 MIn」か「OFF」かを選択する。



6 [決定] ボタンを押す。

「AUTO OFF」表示に変わり、オートパワーオフが決定されます。



ちょっとこれを！

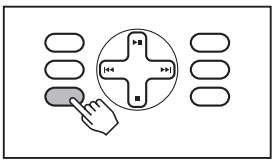
- 工場出荷時には「OFF」に設定されています。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

その他の設定

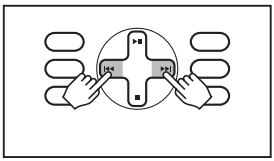
ディスプレイ表示部のバックライトの点灯時間を設定する

各ボタンを押したときのディスプレイ表示部のバックライト点灯時間を設定できます。
時間は5秒間・15秒間・常時点灯に設定できます。

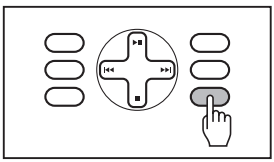
1 [メニュー] ボタンを押す。



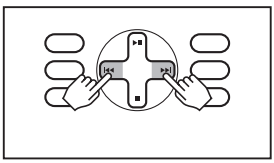
2 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「COMMOn」を選択する。



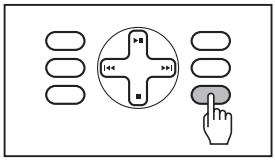
3 [決定] ボタンを押す。



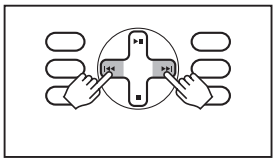
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「bACk LEd」を選択する。



5 [決定] ボタンを押す。

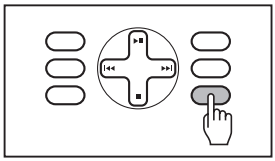


6 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「5 SEC」「15 SEC」、常時点灯「On」か「OFF」かを選択する。



7 [決定] ボタンを押す。

「bACk LEd」表示に変わり、ディスプレイ表示部のバックライト点灯時間が決定されます。



ちょっとこれを！

- 工場出荷時には「5 SEC」に設定されています。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

その他の設定

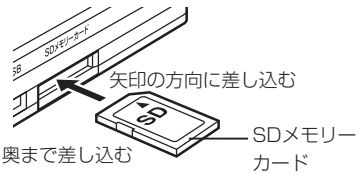
SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードをフォーマットできます。

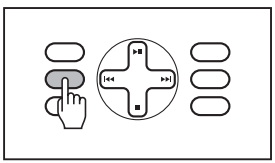
ご注意

- フォーマットする際は専用ACアダプターの使用をおすすめします。
- フォーマットするとSDメモリーカード内に保存されたすべてのファイルが消去されます。大切なデータはあらかじめバックアップしてください。一度フォーマットしてしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。フォーマットをおこなうときは、本当に不要なデータかどうかよく確かめてからおこなってください。
- 乾電池を使用している場合は、フォーマットする前に、電池残量が充分にあることを必ず確認してください。(P.16参照)フォーマット途中に電池残量がなくなると、SDメモリーカードが破損する場合があります。
- 本機でフォーマットした場合、他の機器で使えなくなる場合があります。
- フォーマット中にSDメモリーカードを絶対に抜かないでください。
- 書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。(P.58参照)

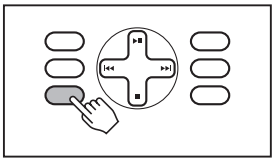
1 フォーマットするSDメモリーカードを、SDメモリーカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む。



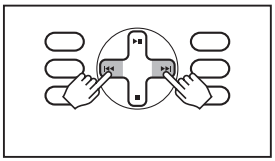
2 [ソース] ボタンを押して、「Sd」を選択する。



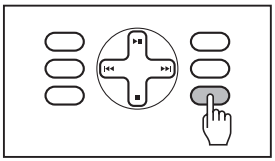
3 [メニュー] ボタンを押す。



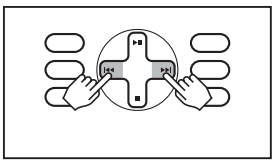
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「COMMOn」を選択する。



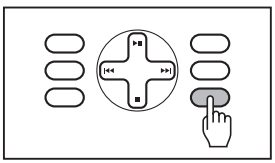
5 [決定] ボタンを押す。



6 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「Sd FORMAT」を選択する。

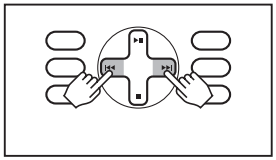


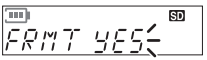
7 [決定] ボタンを押す。



※次のページに続きます。

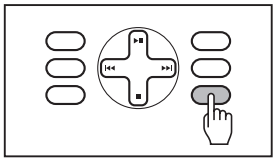
8 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「FRMT yES」を選択する。

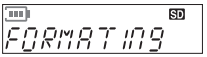




9 [決定] ボタンを押す。

「FORMATIng」と表示され、SDメモリーカードのフォーマットが開始されます。





10 フォーマットが完了すると、「COMPLETE」と表示され、「Sd FORMAT」表示に戻ります。

ちょっとこれを！

- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

その他の設定

ファイルを消去する
(SDメモリーカード・USB機器のみ)

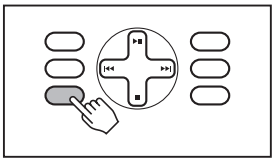
不要になったファイル (MP3・WMA) を消去することができます。

ご注意

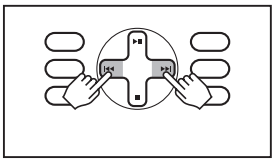
- 乾電池を使用している場合は、消去する前に電池残量が充分にあることを必ず確認してください。
- 消去したファイルは元に戻せません。大切なデータはあらかじめバックアップしてください。一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去をおこなうときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてからおこなってください。
- ファイル消去中に、SDメモリーカードやUSB機器を絶対に抜かないでください。SDメモリーカードやUSB機器が破損する場合があります。
- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。(P.58参照)
- ファイルを消去すると、そのファイル番号は空いたままになります。
  例えば、ファイル番号「CA001T01.MP3」～「CA001T03.MP3」の中から「CA001T02.MP3」を消去しても「CA001T03.MP3」は間をつめて「CA001T02.MP3」にはなりません。

1 消去したいファイルを選択する。
(P.34・35ページ参照)

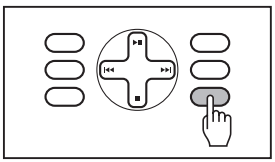
2 [メニュー] ボタンを押す。



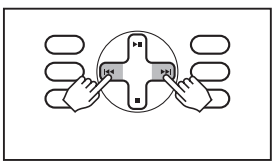
3 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「COMMOn」を選択する。



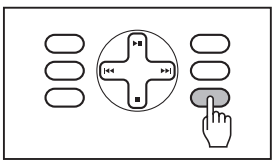
4 [決定] ボタンを押す。



5 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「ERASE」を選択する。

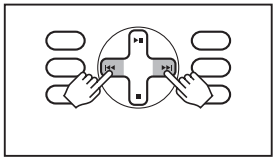


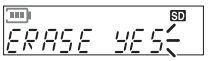
6 [決定] ボタンを押す。



※次のページに続きます。

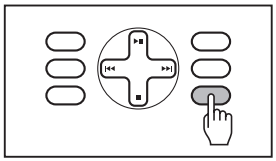
7 ►►Iボタン、またはI◄◄ボタンを押して、「ERASE yES」を選択する。

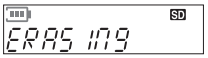




8 [決定] ボタンを押す。

「ERASIng」と表示され、ファイルが消去されます。





9 消去が完了すると「COMPLETE」と表示され、「ERASE」表示に戻ります。

ちょっとこれを！

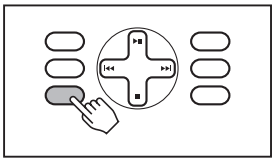
- 本機で再生可能なMP3、WMAファイルのみ消去できます。他の形式のファイルは消去できません。
- MP3、WMAファイルであっても再生可能なフォルダに入っていない場合、消去できません。
- 読み取り専用ファイルは消去できません。
- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

その他の設定

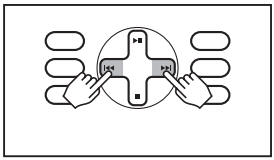
メニューを工場出荷時の状態に戻す

本機の全メニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

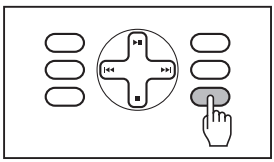
1 [メニュー] ボタンを押す。



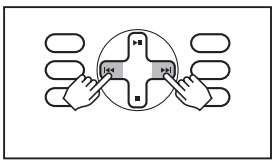
2 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「COMMOn」を選択する。



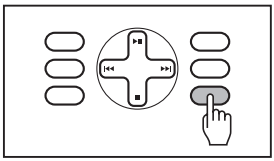
3 [決定] ボタンを押す。



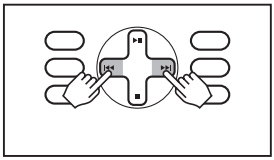
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「MEnU InIT」を選択する。



5 [決定] ボタンを押す。

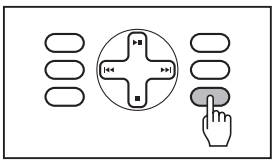


6 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「InIT yES」を選択する。



7 [決定] ボタンを押す。

工場出荷時のメニュー設定状態に戻ります。



ちょっとこれを！

- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。
- 工場出荷時のメニューは下記の通りです。

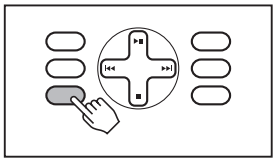
メニュー	表示	工場出荷時の状態
イコライザ	SOUnd EQ	nORMAL
BASS	bASS	OFF
リピート	REPEAT	OFF
ランダム再生	RAndOM	OFF
録音フォルダ	REC FOLdER	A
録音モード	REC MOdE	SP（128kbps）
CD録音速度	CdREC MOdE	nORMAL
自動無音分割	AUTO dIV	2 sec
シンクロ録音	SynCRO REC	On
オートパワーオフ	AUTO OFF	OFF
LEDバックライト	BACk LEd	5 sec
SDフォーマット	Sd FORMAT	nO
ファイル消去	ERASE	nO
工場出荷時設定	MEnU InIT	nO

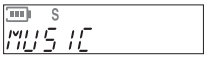
その他の設定

バージョン情報の見かた

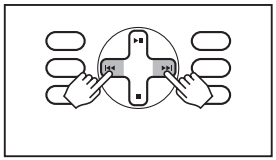
本機のソフトウェアバージョン情報を以下の要領で確認できます。

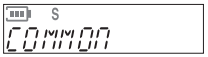
1 [メニュー] ボタンを押す。



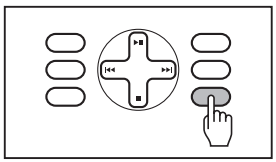


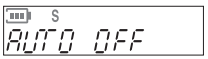
2 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「COMMOn」を選選択する。



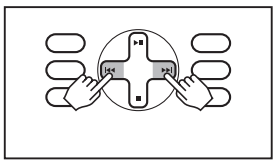


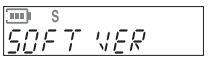
3 [決定] ボタンを押す。



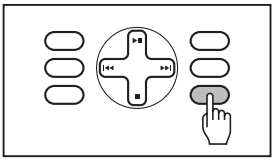


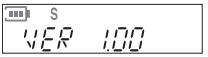
4 ▶▶Iボタン、またはI◀◀ボタンを押して、「SOFT VER」を選択する。





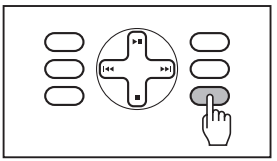
5 [決定] ボタンを押す。

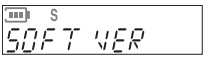




6 [決定] ボタンをもう一度押す。

「SOFT VER」表示に戻ります。





ちょっとこれを！

- 途中で設定を中止するには、[メニュー] ボタン、または [ソース] ボタンを押してください。
- 設定後、[ソース] ボタンを押すと、ソース選択表示に戻ります。

お手入れのしかた

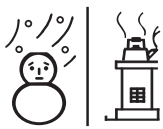
本体のお手入れ

本体や操作パネルの汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- ●汚れがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

露付き（結露）のご注意

周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露（水滴）が発生することがあります。この状態では正常にCDを演奏できないことがあります。このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約2時間放置した後、ご使用を開始してください。

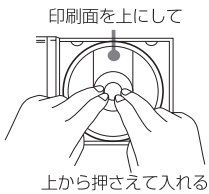


CDの取り扱いと保管

ケースからの出し入れ

出しかた

入れかた



ディスクの取扱いかた

- ●演奏面には手を触れないでください。

CDの保管のしかた

- ●直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ●CDは必ずケースに入れて保管してください。

CDのお手入れのしかた

- ●CDについた指紋やほこりなどの汚れは、音質低下の原因となります。柔らかい布で、CDの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- ●汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で軽く拭き取った後、乾いた布でカラ拭きしてください。
- ●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

お手入れのしかた

SDメモリーカード使用時のご注意

■SDメモリーカード1枚への録音は収録時間内で最大2000曲まで

実際に録音できる曲数が少なくなる場合もあります。

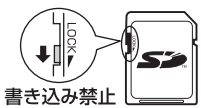
■フォーマットについて

新しいSDメモリーカードや、他のデジタル機器やパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、フォーマットしてから使用してください。

- SDメモリーカードのフォーマットは必ず本機でおこなってください。他の機器でフォーマットしたカードは使用できない場合があります。
- SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットし直すことによって、正常に動作することがあります。（そのとき保存されているデータは消去されます。）
- SDメモリーカードは記録や消去をくり返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。

■大切なデータを保護するために

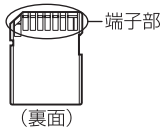
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音・編集するときは解除してください。



- 操作の途中にSDメモリーカードを抜いたり、専用ACアダプターや乾電池を絶対に抜かないでください。データが破損する場合があります。

■ 取扱上のご注意

- 無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、静電気を帯びていると、認識されなかったり、本体が誤動作する場合があります。大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へバックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- 使用機器から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 金属端子部を手や金属でさわらないでください。



■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

SDメモリーカードを使用中、誤動作や故障によって保存データが失われることがあります。保存されたデータの損失については、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

USB機器使用時のご注意

USB機器（デジタルオーディオプレーヤーを含む）を使用中、誤動作や故障によって保存データが失われることがあります。保存されたデータの損失については、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をご確認ください。

●全般

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	専用ACアダプターが抜けている。	専用ACアダプターを確実に接続する。	15
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池に交換する。	16
	乾電池が正しくセットされていない。	正しくセットする。	15
電源を入れてもすぐに切れる。	乾電池の残量が少ない。	新しい乾電池に交換する。	16
電源が入っているのに操作ができない。	CD・SDメモリーカード・USB機器が本機に正しくセットまたは接続されていない。	正しくセットまたは、接続する。	28・30・31・33・36・37・51
SDメモリーカード・USB機器が認識されない。	SDメモリーカード・USB機器が破損している。または本機に対応していない。	●SDメモリーカード・USB機器を接続し直す。 ●SDメモリーカード・USB機器が破損していないか確認する。 ●SDメモリーカード・USB機器が本機に対応しているかどうか確認する。 ※別紙「USB機器およびSDメモリーカードについて」参照	8・9
ボタンを押しても反応しない。	ホールド状態になっている。（誤動作防止機能が働いている。）	ホールドスイッチをスライドさせて、解除する。	16

●再生について

症状	原因	処置	参照ページ
音が聞こえない。	音量が小さい。	音量を調節する。	38
	ヘッドホンを確実に差し込んでいない。	ヘッドホンのプラグを確実に差し込む。	34
	本機で再生できないCDなどを再生している。	本機で再生可能な信号のディスクを再生する。本機で再生できるCDは音楽CD（CD-DA）のみです。	7・8
	CDが裏返しになっている。	正しくセットする。	36
	CDが汚れている。	清掃する。	57
	CDに露が付いている。	露を拭き取る。	7・57
	ヘッドホンを本機のライン入力端子に接続している。	ヘッドホンを本機のヘッドホン端子に接続する。	34
音が途切れる。	電気雑音の発生しやすいところで使っている。	設置場所を変える。	—
	CDに大きな傷やソリがある。	CDを取り替える。	—

故障かな？と思ったら

●録音について

症状	原因	処置	参照ページ
録音できない。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。 ※「CAnT REC」と表示される。	解除する。	58
	本機で再生できないCDなどを再生している。	本機で再生可能な信号のディスクを再生する。 本機で再生できるCDは音楽CD（CD-DA）のみです。	7・8
	CDが裏返しになっている。	正しくセットする。	28
	CDが汚れている。	清掃する。	57
	CDに露が付いている。	露を拭き取る。	7・57
	SDメモリーカード・USB機器が容量オーバーになっている。（空き領域が充分にない。） ※「MEM FULL」と表示される。	不要なファイルを消去する。	8·9·17·18·53·54·58
	SDメモリーカード・USB機器が破損している。または本機に対応していない。	●SDメモリーカード・USB機器を接続し直す。 ●SDメモリーカード・USB機器が破損していないか確認する。 ●SDメモリーカード・USB機器が本機に対応しているかどうか確認する。 ※別紙「USB機器およびSDメモリーカードについて」参照	8・9

故障かな？と思ったら

●エラー表示について

エラー表示	原因	処置	参照ページ
「nO-Sd」と表示される。	SDメモリーカードがセットされていない。	SDメモリーカードをセットする。	28・31・36・51
	本機で認識できないSDメモリーカードがセットされている。	使用可能なSDメモリーカードをセットする。	8
「MEM FULL」と表示される。	SDメモリーカードが容量オーバーになっている。	不要なファイルを消去する。	8·17·18·53·54·58
	USB機器の内蔵メモリが容量オーバーになっている。	不要なファイルを消去する。	9·17·18·53·54
「CAn'T REC」と表示される。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。	解除する。	58
「FILE FULL」と表示される。	1つのフォルダに99を超えるファイルがある。	録音を終了し、新しいフォルダで録音する。	17・18
「nO-Cd」と表示される。	CDが入っていない。	CDを正しく入れる。	28・36
	本機で再生できないCDが入っている。	本機で再生可能な信号のディスクを再生する。 本機で再生できるCDは音楽CD（CD-DA）のみです。	7・8
「nO-USb」と表示される。	USB機器が接続されていない。	USB機器を接続する。	30・33・37
	本機で認識できないUSB機器がセットされている。	使用可能なUSB機器を接続する。	9
「nO-FILE」と表示される。	再生できるファイルが記録されていないSDメモリーカード・USB機器がセットされている。	再生できるファイルが記録されたSDメモリーカード・USB機器をセットする。	8・9・58
「ERROR」と表示される。	SDメモリーカードのデータが壊れているのでフォーマットできない。	他の機器でフォーマットする。	–
	データが破損しているため、ファイルの削除ができない。	フォーマットを行う。（本機でUSB機器のフォーマットはできません。）	–
「nO　LInE In」と表示される	本体のライン入力端子に専用ライン入力ケーブル（付属）が接続されていない。または、正しく接続されていない。	専用ライン入力ケーブルを正しく接続する。	11・31

用語解説

MP3（MPEG-1 Audio Layer3）

MP3とは、MPEG-1 Audio Layer3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しており、音質の劣化を少なくし、データ量を約1/10(128kbpsの場合)に圧縮することができるとされています。

WMA（Windows Media Audio）

WMAとは、Windows Media Audioの略でマイクロソフト社が開発したファイル形式で圧縮された音楽データです。「.wma」または「.WMA」という拡張子の付いたファイルをWMAファイルと呼びます。人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用しており、音質の劣化を少なくし、データ量を約1/20(64kbpsの場合)に圧縮することができるとされています。

USBマスストレージ

USBマスストレージクラスとは、USB端子に大容量記憶装置（マスストレージ）を接続するために定められた規格で、USBストレージクラスと呼ばれることもあります。この規格に準拠したUSB機器は、端子に接続すると外部記憶装置として認識されるため、デジタルオーディオプレーヤーなどでも外付けの記憶装置と同じように扱うことができます。使用するUSB機器がUSBマスストレージに対応しているかどうかは、USB機器メーカーにご確認ください。

ビットレート

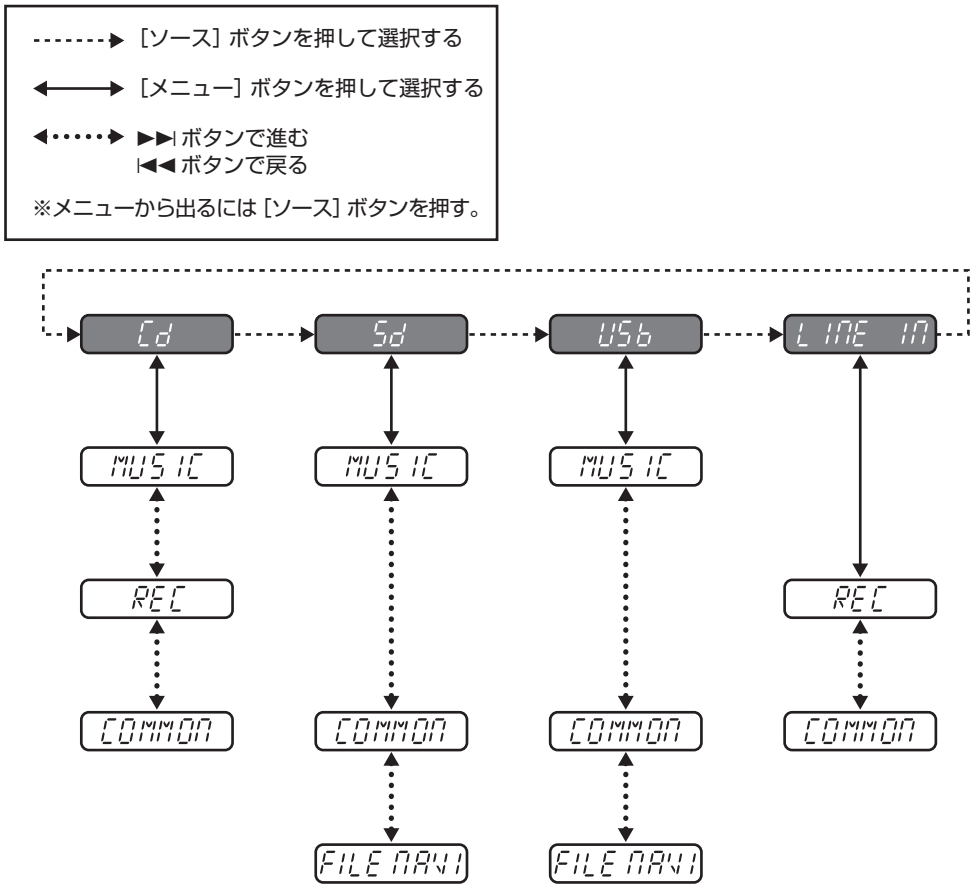
1秒間に転送されるデータ量の単位で、単位はbps（bit per second）。数値が多いほど音質は良くなりますが、CDとほぼ同等の音質と言われているビットレートは、MP3では128kbps、WMAでは64kbpsです。

DRM

デジタル著作権管理。インターネットを通じて音楽や映像を配信する際に、違法なコピーを防止するために使われます。コンテンツとともに再生のためのライセンスを配布するため、ライセンスのない別のパソコンでは再生できず、デジタルプレーヤーもDRMに対応していない機器では再生できません。

メニュー一覧

各ソースで選択できるメニュー一覧



MUSIC メニューのフロー…P.64 参照

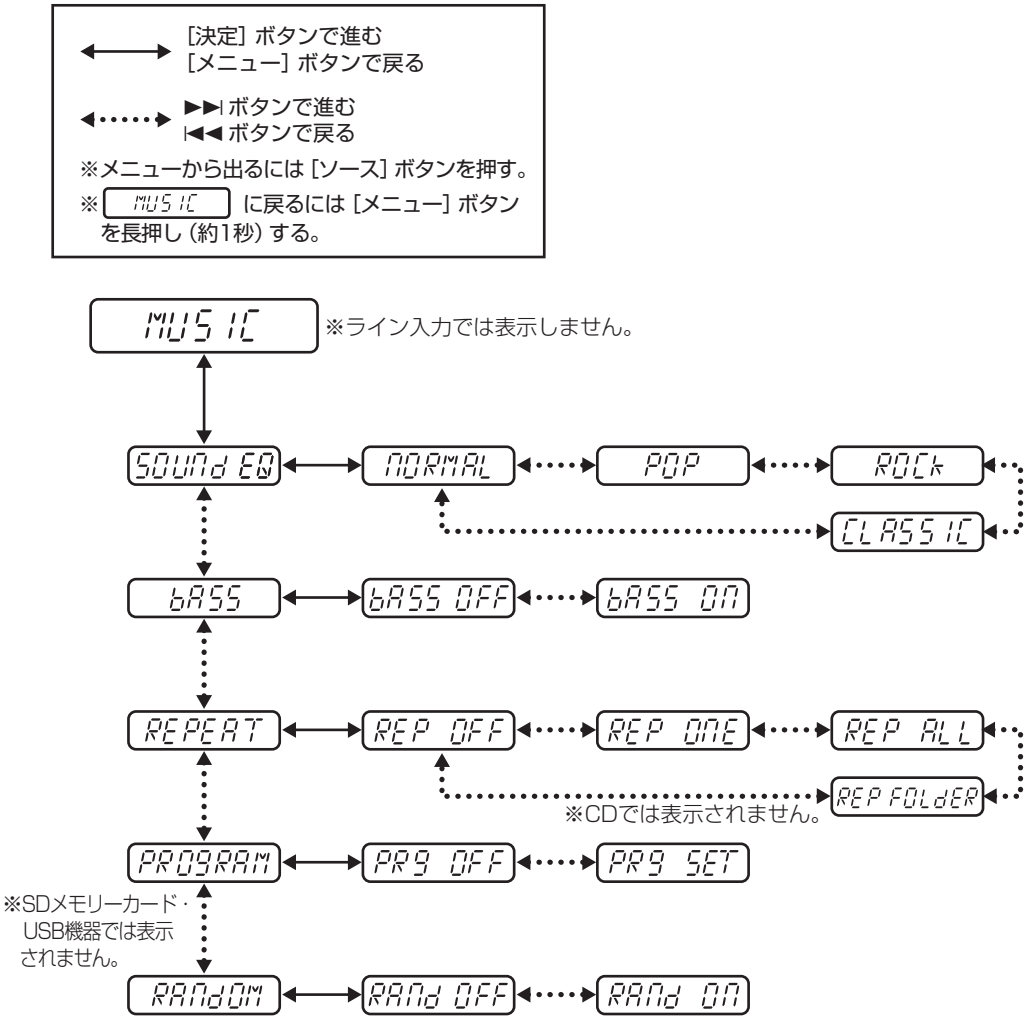
REC メニューのフロー…P.65 参照

COMMON メニューのフロー…P.66 参照

FILE NAVI メニューのフロー…P.66 参照

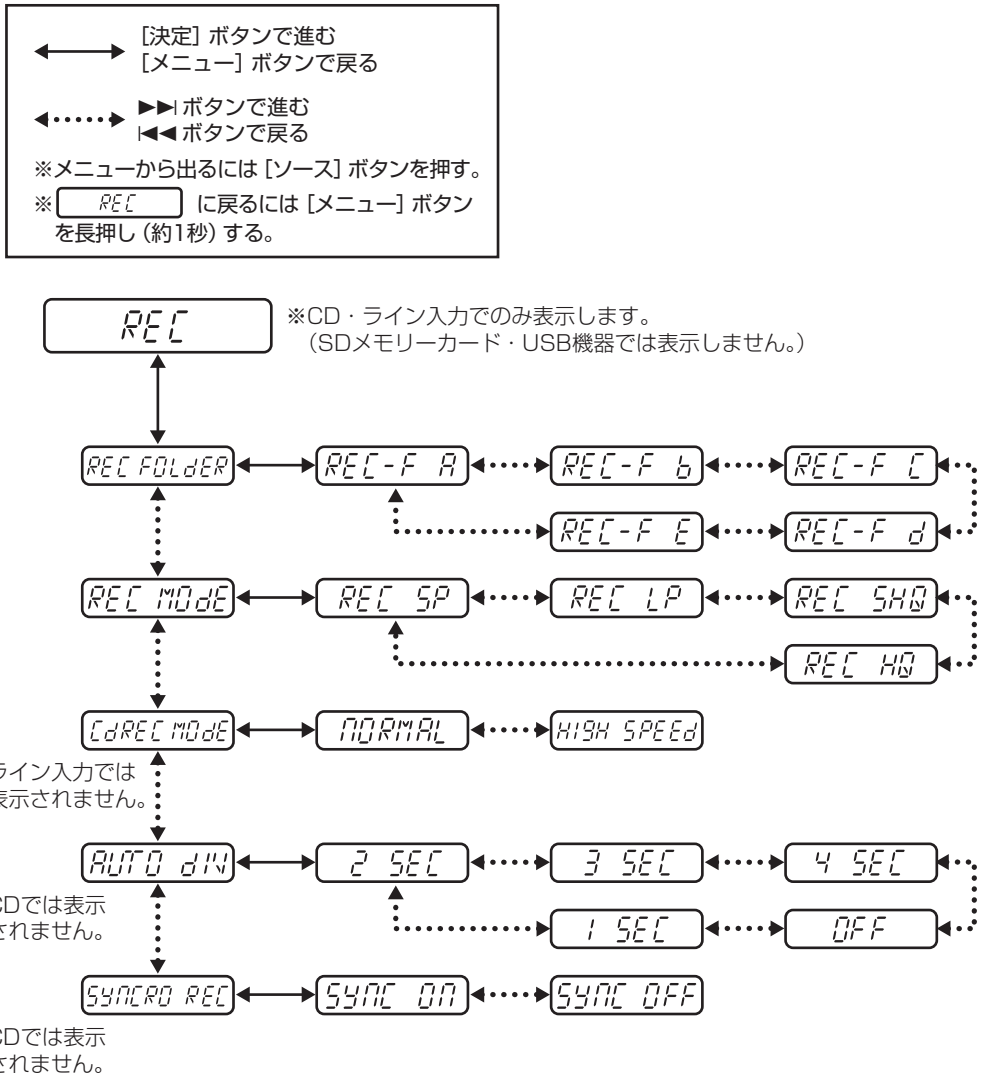
メニュー一覧

MUSICメニューのフロー



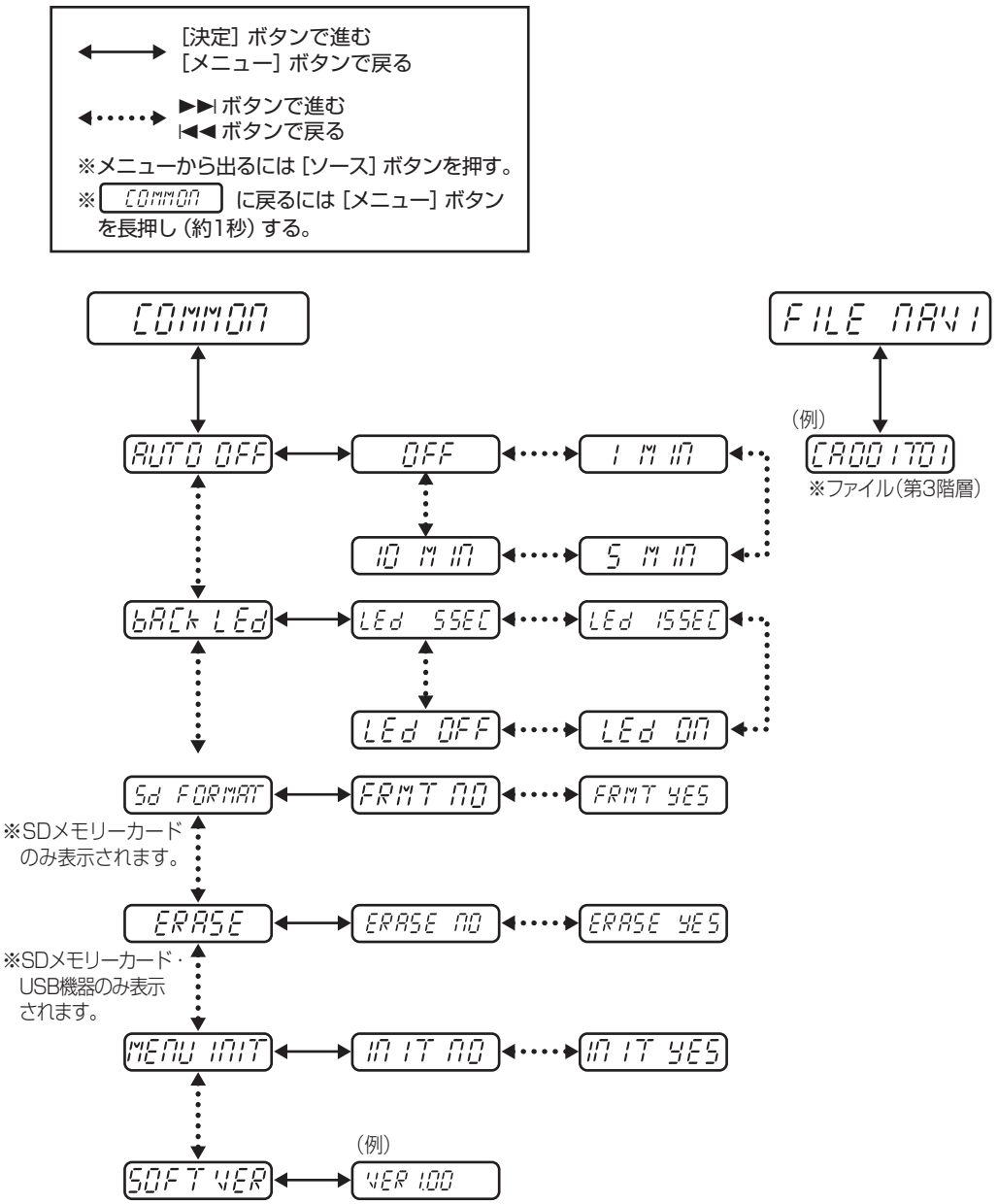
メニュー一覧

RECメニューのフロー



メニュー一覧

COMMONメニュー・FILE NAVIメニューのフロー



仕様

形名			HMR-1
CDプレーヤー部	対応CD		音楽CD(CD-DA)、CD-R/CD-RW(CD-DA)※1
	再生機能		プログラム最大20曲/リピート/ランダム
SDメモリーカード・USB端子部	対応メモリ※2		SDメモリーカード(128MB ～ 2GB)※3
			USBマスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー(128MB以上) ※4
			USBマスストレージクラス対応USBメモリ※5
	再生	再生ファイル形式	MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)、WMA (Windows Media Audio) (DRM非対応)
		再生周波数	20 ～ 20,000Hz
		サンプリング周波数	16 ～ 44.1kHz
		再生対応ビットレート	MP3:8 ～ 320kbps、WMA:32 ～ 160kbps
	録音	録音フォーマット	MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
		録音ビットレート	SHQ(192kbps)/HQ(160kbps)/SP(128kbps)/LP(64kbps)
		録音速度	音楽CD(CD-DA)時:HIGH SPEED・NORMAL(等倍速) 切換※6
			ライン入力時: NORMAL(等倍速) 固定
ディスプレイ部			セグメント(英数字)
サウンドイコライザ			NORMAL/POP/ROCK/CLASSIC
重低音再生			BASS(ON/OFF切換)
ヘッドホン出力			10mW+10mW(インピーダンス16Ω)
電源			専用ACアダプター (AC100V)、単3形アルカリ乾電池4本(別売)
電池持続時間※7			録音：約14時間 (CDからSDメモリーカード時)、約5時間 (CDからUSB機器時) 再生：約18時間 (CD/SDメモリーカード使用時)、約7時間 (USB機器使用時)
端子			SDメモリーカードスロット
			USB端子(タイプA)
			ライン入力端子(3.5φステレオミニジャック)
			ヘッドホン端子(3.5φステレオミニジャック)
外形寸法			幅130×高さ29.2×奥行170mm
質量(本体のみ)			約345g
消費電力(待機時消費電力)			2.4W (1.1W)
付属品			専用ACアダプター、専用ライン入力ケーブル、キャリングポーチ、取扱説明書

※1 CD-R/CD-RWは、記録状態によって再生できない場合があります。

※2 全てのSDメモリーカードやUSBマスストレージクラス対応機器の動作を保証するものではありません。

※3 SDメモリーカードは別売です。miniSDメモリーカードを使用の場合は、別売りのアダプターが必要です。
SDHC(4GB以上)、マルチメディアカードは使用できません。SDカードの種類によって音飛びする場合があります。

※4 USBケーブルを使用の場合は、1.5m以下のケーブルを使用してください。1.5mを超えるUSBケーブルを使用の場合、USB接続した機器を認識しないことがあります。

※5 USBメモリは別売りです。HDD内蔵のUSB機器は使用できません。

※6 録音するビットレート等により、処理速度が異なります。

※7 各電池持続時間は日立アルカリ乾電池 (LR6 (EX-S)) を使用し、ディスプレイ表示のバックライト設定「オフ」、ファイル形式「MP3(128kbps)」、JEITA基準で測定した目安であり、保証持続時間ではありません。電池の種類やメーカー、ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。

ご相談窓口　（家庭電器製品の表示に関する公正競争規約により表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

（受付時間）365日／ 9:00 ～ 19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739

（受付時間）9:00 ～ 17:30 ／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポータブルCD・MP3レコーダーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（持込修理）

59〜61ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ずACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ポータブルCD・MP3レコーダー
形　　名	HMR-1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入年月日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日

長年ご使用のポータブルCD・MP3レコーダーの点検をぜひ!

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか

- ●電源を入れても音が出ない。
- ●ジージー・パチパチと異常な音がする。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源を切っても、音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて必ず販売店にご相談ください。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611

メモ

メモ

ポータブルCD・MP3レコーダー保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保障期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HMR-1	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　－	
	ご芳名		様
※販売店	住所	〒　－	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
（ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用等）に使用された場合の故障及び損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
（チ）故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
（リ）消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合の交換。

2.離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4.贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書のお客様ご相談窓口をご覧のうえ、ご相談ください。
5.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6.修理に伴う商品の移送に要する送料等は、お客様の負担となります。
7.本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合せください。
●保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
●このポータブルCD･MP3レコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
●補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611
FAX. 03（3260）9739